

介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針に基づく情報開示(2017(平成29)年5月1日現在)

設置者に関する情報	①設置者の法人種別 名称 所在地 連絡先 ②代表者氏名 ③養成施設以外の実施事業 ④財務諸表	学校法人 学校法人 滋賀学園 〒527-0003 滋賀県東近江市建部北町520の1 電話 0748-23-0858 FAX 0748-22-2687 理事長 森 美和子 大学・短期大学・高等学校・中学校・認定こども園 運営 → <a href="http://www.newton.ac.jp/?id=areaB6">http://www.newton.ac.jp/?id=areaB6</a>
養成施設に関する情報	①名称 所在地 連絡先 ②代表者氏名 ③開設年月日 ④学則 ⑤施設・設備の概要	びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科介護福祉コース 〒527-8533 滋賀県東近江市布施町29 電話 0748-22-3388 FAX 0748-23-7202 学長 賀川 昌明 1994(平成6)年4月1日 → <a href="http://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/gakusoku_course2.pdf">http://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/gakusoku_course2.pdf</a> 校舎用地 13,910㎡ 運動場 6,194㎡ 合計20,104㎡ 校舎 8,322㎡・・・普通教室(12室)・介護実習室・入浴実習室・コンピュータ実習室(3室)・食生活実習室・セミナー室(3室)体育館・図書館(蔵書:約62,000冊) ほか
養成課程に関する情報	①スケジュール(期間) 日程 時間数 ②定員 ③入学までの流れ(募集) 申込・資料請求先 ④費用 ⑤シラバス ⑥科目担当教員 専任教員略歴 ⑦使用教材 ⑧実習施設 ⑨実習内容・概要	2年間 4月1日～3月31日 1,980時間 30名(男女共学) → 2ページへ びわこ学院大学入学センター 〒527-8533 滋賀県東近江市布施町29 電話 0748(22)3388 FAX 0748(23)7202 Eメール cl-admin@newton.ac.jp 入学検定料30,000円 入学金230,000円 授業料(年額)760,000円 施設設備費(年額)220,000円 実習費(年額)65,000円 その他(実習着・シューズ約10,000円 教科書等約60,000円 諸会費36,000円 等) → <a href="http://www.biwakogakuin.ac.jp/PDF/kaigofukushi.pdf">http://www.biwakogakuin.ac.jp/PDF/kaigofukushi.pdf</a> → 3ページへ → <a href="http://www.biwakogakuin.ac.jp/PDF/kaigofukushi.pdf">http://www.biwakogakuin.ac.jp/PDF/kaigofukushi.pdf</a> → 4ページへ → 5ページへ → 6ページへ
実績に関する情報	①卒業生の延べ人数 ②卒業生の進路の状況	1,304名(平成29年3月卒業生まで) → 7ページへ

2018(平成30)年度びわこ学院大学短期大学部 入試日程

入試種別	社会人	留学生	エントリー期間	選考日	内定発表日	出願期間	試験日	合否発表	手続期間
AO入試(A日程)			8月1日 ~8月8日	8月18日	8月25日	8月28日 ~9月8日	* * *	9月20日	9月20日 ~10月11日
AO入試(B日程)			8月21日 ~9月1日	9月9日	9月20日	9月25日 ~10月5日	* * *	10月16日	10月16日 ~11月6日
指定校制			* * *	* * *	* * *	9月25日 ~10月6日	10月14日	10月20日	10月20日 ~11月10日
公募制(前期)	○	■	* * *	* * *	* * *	10月23日 ~11月6日	11月11日 11月12日	11月20日	11月20日 ~12月14日
公募制(後期)	○		* * *	* * *	* * *	11月24日 ~12月4日	12月9日	12月15日	12月15日 ~1月11日
自己推薦			* * *	* * *	* * *	11月24日 ~12月4日	12月9日	12月15日	12月15日 ~1月11日
一般入試(前期)	○	■	* * *	* * *	* * *	1月5日 ~1月22日	1月27日 1月28日	2月9日	2月9日 ~ 2月23日
一般入試(後期)	○		* * *	* * *	* * *	2月9日 ~2月23日	3月2日	3月9日	3月9日 ~ 3月15日
センター利用(A日程)			* * *	* * *	* * *	1月5日 ~1月26日	* * *	2月9日	2月9日 ~2月23日
センター利用(B日程)			* * *	* * *	* * *	2月9日 ~2月23日	* * *	3月5日	3月5日 ~3月12日
センター利用(C日程)			* * *	* * *	* * *	2月27日 ~3月12日	* * *	3月16日	3月16日 ~3月22日

○日程については、社会人入試もあわせて実施

■日程については、外国人留学生入試もあわせて実施

教員数、科目ごとの担当教員名 専任 4名 非常勤(\*) 16名

領域	教育内容(時間数)	開講科目名称	担当教員名	
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	福嶋 正人(*)	
		人間関係とコミュニケーション	片山 弘紀	
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション演習A	原田 直子(*)	
		人間関係とコミュニケーション演習B	前田 眞里(*)	
	社会の理解	生活と福祉	片山 弘紀	
		社会保障制度総論	福嶋 正人(*)	
	人間と社会に関する選択科目	情報処理論	長嶺 共全(*)	
		現代基礎教養(数学)A	東田 充弘(*)	
		現代基礎教養(社会)A	後藤 真吾(*)	
		リーダーシップ論	牧田 衛活(*)	
		協働・組織活動論	平尾 良治(*)	
		レクリエーション論	山ノ井 勉	
		法と社会	烏野 猛(*)	
		社会保障制度各論	福嶋 正人(*)	
ライフデザイン基礎		片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉		
ライフデザイン研究		片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉		
介護	介護の基本	介護の基本Ⅰ	山ノ井 勉	
		介護の基本Ⅱ	山ノ井 勉	
		介護の基本Ⅲ	山 和美 山ノ井 勉 吉原 真紀	
	コミュニケーション	コミュニケーション技術	片山 弘紀	
		コミュニケーション技術演習	片山 弘紀	
	生活支援技術	生活支援技術概論A	丸山 俊明(*) 内丸 もと子(*)	
		生活支援技術概論B	赤田 みゆき(*)	
		生活支援技術演習A	山 和美	
		生活支援技術演習B	山 和美	
		生活支援技術演習C	山 和美	
		生活支援技術演習D	赤田 みゆき(*) 内丸 もと子(*) 西川 実佐子(*)	
	介護過程	介護過程Ⅰ	山 和美	
		介護過程Ⅱ	山 和美	
		介護過程Ⅲ	山ノ井 勉	
		介護過程Ⅳ	山ノ井 勉	
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
		介護総合演習Ⅱ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
		介護総合演習Ⅲ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
		介護総合演習Ⅳ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
	介護実習	介護実習Ⅰ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
		介護実習Ⅱ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
		介護実習Ⅲ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
		介護実習Ⅳ	片山 弘紀 山 和美 吉原 真紀 山ノ井 勉	
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解Ⅰ	溝口 孝子(*)
			発達と老化の理解Ⅱ	溝口 孝子(*)
		認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	松本 行弘(*)
			認知症の理解Ⅱ	山 和美
		障害の理解	障害の理解Ⅰ	溝口 孝子(*)
障害の理解Ⅱ			松本 行弘(*)	
こころとからだのしくみ		こころとからだのしくみの基礎A	新屋 久幸(*)	
		こころとからだのしくみの基礎B	吉原 真紀	
		こころとからだのしくみの理解A	新屋 久幸(*)	
		こころとからだのしくみの理解B	吉原 真紀	
医療的ケア	医療的ケアⅠ	吉原 真紀		
	医療的ケアⅡ	吉原 真紀		

塗りつぶしは、平成29年度に開講のない科目(平成30年度開講予定)

## 使用教材一覧表(受講生が必要とする教材)

	教材名	出版社名	教材使用科目(分野)	
1	生活問題と社会保障・社会福祉の基本資料集	高学出版	人間福祉概論	(人間と社会—人間の尊厳と自立)
2	介護の基本 I	建帛社	介護の基本 I	(介護—介護の基本)
3	介護の基本 II	建帛社	介護の基本 II	(介護—介護の基本)
4	見て覚える！介護福祉士国試ナビ	中央法規	介護の基本 III	(介護—介護の基本)
5	新・介護福祉士養成講座2 社会と制度の理解 第3版	中央法規	介護の基本 III	(介護—介護の基本)
6	介護福祉士国試ナビ完全予想模試16年版	成美堂	介護の基本 III	(介護—介護の基本)
7	改訂 人にやさしい介護技術	中央法規	生活支援技術演習A・B	(介護—生活支援技術)
8	生活支援技術 I	中央法規	生活支援技術演習A・B・D 生活支援技術概論A・B	(介護—生活支援技術)
9	生活支援技術 II	中央法規	生活支援技術演習A・B	(介護—生活支援技術)
10	生活支援技術 III	中央法規	生活支援技術演習C	(介護—生活支援技術)
11	楽しく学ぶ介護過程	久美出版	介護過程 I	(介護—介護過程)
12	介護過程	中央法規	介護過程 I	(介護—介護過程)
13	介護過程	中央法規	介護過程 II・III・IV	(介護—介護過程)
14	ワークで学ぶ介護実習・介護総合演習	(株)みらい	介護総合演習 I・II・III・IV 介護実習 I・II・III・IV	(介護—介護実習)
15	発達と老化の理解	メヂカルフレンド社	発達と老化の理解 I・II	(こころとからだのしくみ—発達と老化の理解)
17	認知症の理解	ミネルヴァ書房	認知症の理解 I	(こころとからだのしくみ—認知症の理解)
18	認知症の理解	中央法規	認知症の理解 II	
19	障害の理解	中央法規	障害の理解 I	(こころとからだのしくみ—障害の理解)
20	障害の理解	ミネルヴァ書房	障害の理解 II	
21	医学一般、最新介護福祉全書 別巻1	メヂカルフレンド社	こころとからだのしくみの基礎A	(こころとからだのしくみ—こころとからだのしくみ)
22	こころとからだのしくみ	メヂカルフレンド社	こころとからだのしくみの基礎B	
23	精神保健 第3版	医学出版社	こころとからだのしくみの理解A	
24	こころとからだのしくみ	中央法規	こころとからだのしくみの理解B	
25	医療的ケア	建帛社	医療的ケア I・II	(医療的ケア)
26	たっちゃんと学ぼう		人間関係とコミュニケーション演習A	(人間と社会—選択科目)
27	点字はやわかり(新版)	京都ライトハウス	人間関係とコミュニケーション演習B	
※全受講生購入(1~25)				
※履修科目により購入(26~27)				

施設名称	所在地	事業内容
特別養護老人ホーム いぬかみ	犬上郡多賀町中川原605番地2	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム せせらぎ苑	甲賀市甲南町葛木855	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム ふじの里	高島市安曇川町下小川字藤ノ里3220-1	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム ゆいの里	守山市洲本町井関1	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 菊水園	東近江市下里町字桑の木789	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 玉園ハイム	東近江市尻無町字山ノ間1170-3	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 甲賀荘	甲賀市甲賀町大原中西谷904	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 信楽荘	甲賀市信楽町牧字小屋カイト1159	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 榛原の里	大津市真野普門三丁目1120番地	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 清水苑	東近江市五箇荘川並町268番地	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 能登川園	東近江市新宮町547番地	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 青浄苑	長浜市加田町字清水2995	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 近江第二ふるさと園	彦根市開出今町1343-3	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 兆生園	甲賀市水口町今郷北山1032-25	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 白寿荘	蒲生郡日野町松尾御霊谷359	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 美松苑	湖南市針1325	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 福寿荘	大津市大萱七丁目7-1	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム ふくら	長浜市内保町480	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 万葉の里	蒲生郡竜王町山之上632	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 悠紀の里	野洲市南桜2131-1	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 真盛園	大津市坂本5-13-1	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 菖蒲の郷	草津市山寺町837	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 清風荘	高島市今津町南新保87	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 桐生園	大津市上田上桐生町37	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 淡海荘	栗東市出庭697-1	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム カルナハウス	東近江市建部下野町797	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム 誉の松	蒲生郡日野町深山口524番地	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム さざなみ苑	彦根市城町二丁目13番3号	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム やまびこ	愛知郡愛荘町安孫子1235	特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム ぎおうの里	野洲市富波甲1340-1	特別養護老人ホーム
養護老人ホーム きぬがさ	東近江市五箇荘川並町322番地	養護老人ホーム
介護老人福祉施設 こぼしの家	東近江市市辺町3477	介護老人福祉施設
介護老人保健施設 アロフェンテ彦根	彦根市竹ヶ鼻町80番地	介護老人保健施設
介護老人保健施設 ヴォーリス老健センター	近江八幡市北之庄町492	介護老人保健施設
介護老人保健施設 パストラールとよさと	犬上郡豊郷町石畑212	介護老人保健施設
介護老人保健施設 リハビリセンターあゆみ	東近江市新宮町558番地	介護老人保健施設
介護老人保健施設 湖北やすらぎの里	長浜市木之本町黒田1221	介護老人保健施設
介護老人保健施設 長浜メディケアセンター	長浜市加田町2984-1	介護老人保健施設
介護老人保健施設 レーク・ホロニー	大津市大萱七丁目7-3	介護老人保健施設
介護老人保健施設 ケアセンターおおつ	大津市本宮二丁目9-40	介護老人保健施設
介護老人保健施設 ウェル青葉	東近江市青葉町1-46	介護老人保健施設
救護施設 さわやか荘	高島市今津町浜分528-11	救護施設
救護施設 ひのたに園	蒲生郡日野町松尾121	救護施設
救護施設 滋賀保護院	大津市本宮2丁目6-45	救護施設
障害者自立支援施設 むれやま荘	草津市笠山八丁目5-130	障害者自立支援施設
障害者支援施設 るりこう園	甲賀市土山町野上野497	障害者支援施設
障害者支援施設 清湖園	高島市今津町南新保87	障害者支援施設
障害者支援施設 ふるさと	彦根市開出今町1343-3	障害者支援施設
障害者支援施設 あかね	東近江市小脇町字栄2089	障害者支援施設
障害者支援施設 彦根学園	彦根市高宮町2671	障害者支援施設
障害者支援施設 くすのき	東近江市蒲生寺町小野1186	障害者支援施設
障害者支援施設 せいふう	彦根市高宮町2672	障害者支援施設
障害者支援施設 わたむきの里第1作業所	蒲生郡日野町上野田805	障害者支援施設
障害者支援施設 きらり庵	東近江市上中野町397	障害者支援施設
障害者支援施設 スマイル	東近江市平田町717-1	障害者支援施設
障害者支援施設 きぬがさ作業所	近江八幡市安土町下豊浦9019	障害者支援施設
重症心身障害児者施設 びわこ学園医療福祉センター野洲	野洲市北桜978-2	重症心身障害児者施設
重症心身障害児者施設 びわこ学園医療福祉センター草津	草津市笠山八丁目3番113号	重症心身障害児者施設
老人居宅介護等事業東近江市社会福祉協議会ヘルパーステーションハートピア	東近江市今崎町21-1 市民福祉センターハートピア八日市内	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業東近江市社会福祉協議会ヘルパーステーションなごみ	東近江市乙女浜町527	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業東近江市社会福祉協議会ゆうあいの家	東近江市永源寺町高野437	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業東近江市社会福祉協議会愛東湖東支所	東近江市妹町29	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業東近江市社会福祉協議会ヘルパーステーションせせらぎ	東近江市市子川原町676	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業日野町社会福祉協議会ひだまり事業所	滋賀県蒲生郡日野町河原1丁目1	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業彦根市社会福祉協議会ホームヘルパーステーション	彦根市平田町670	老人居宅介護等事業
老人居宅介護等事業長浜市社会福祉協議会ホームヘルパーステーション	長浜市湖北町速水2745番地	老人居宅介護等事業
認知症対応型共同生活介護しみんふくしの家八日市グループホーム	東近江市東沖野2-5-5	認知症対応型共同生活介護
認知症対応型共同生活介護グループホーム万葉の里	蒲生郡竜王町大字山之上632	認知症対応型共同生活介護
認知症対応型共同生活介護あったかハウス京町グループホーム	彦根市京町1丁目4-7	認知症対応型共同生活介護
認知症対応型共同生活介護彦根市グループホームゆうゆう	彦根市川瀬馬場町1015-1	認知症対応型共同生活介護
認知症対応型共同生活介護グループホームのと川	東近江市新宮町330	認知症対応型共同生活介護
認知症対応型共同生活介護甲良町グループホームらくらく	犬上郡甲良町在士625	認知症対応型共同生活介護
認知症高齢者グループホームグループホームハートフル	犬上郡多賀町中川原605-2	認知症対応型共同生活介護
認知症高齢者グループホームグループホームさざなみ苑	彦根市城町二丁目13番3号	認知症対応型共同生活介護
小規模多機能型居宅介護事業所良の家	大津市坂本6丁目26-45	小規模多機能型居宅介護事業
小規模多機能型居宅介護事業所かじやの里の新兵衛さん	東近江市佐野町35番地	小規模多機能型居宅介護事業
小規模多機能型居宅介護事業所愛近江ゆかり	東近江市勝堂町1702	小規模多機能型居宅介護事業

実習種別	実習内容・特徴
介護実習Ⅰ ※5日間×2回 計10日間	施設実習では、主に施設内での介護福祉士の役割や行動、他職種との連携方法等について学びます。そこで、介護実習Ⅰでは、実際の福祉施設に行き、そこで働いている実習指導者や他職種の人達から多くの介護に関する知識や技術等を教えてもらいながら、学校で学んだ基礎的な介護知識や介護技術の習得状況を実際の現場の中で確認し、それらを向上させるとともに、介護現場でしか学べない施設内での介護福祉士のあり方や毎日の介護記録の書き方、施設利用者とのコミュニケーション技術を現場を通して学びます。
介護実習Ⅱ	介護実習Ⅱでは、介護実習Ⅰの内容を踏まえて、介護現場における介護知識や介護技術の更なる向上と習得を行いながら、担当した施設利用者に対して求められる支援を、可能な範囲でのケアプランの作成と実施評価に取り組みます。学校ではケアプラン作成のための授業を行っているので、その成果を活かしつつ、実際の現場におけるケアプラン作成の方法や難しさを経験しながら、実習指導者や巡回教員の指導のもとにケアプラン実施評価のための方法を学びます。
介護実習Ⅲ	超高齢化社会を迎えて、施設介護の需要が増えどの施設でも入所待ちの現状であるが、最近では居宅介護の重要性が見直され、国や住民の支えもあり、様々な居宅介護サービスが充実してきている。介護実習Ⅲでは、介護実習Ⅰ・Ⅱの内容を踏まえて、居宅介護現場で必要とされる介護知識や介護技術の習得を目指すため、実際に居宅介護サービスを実施している社会福祉協議会で実習を行い、現場の実習指導者や巡回教員から居宅介護サービスの役割や意義、方法等を実際の現場実習を通して学習します。
介護実習Ⅳ	介護実習Ⅳは、すべての介護実習のまとめとして位置づけているので、介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容を踏まえて、施設現場で必要とされている介護知識や介護技術を十分に身に付けられているのかを確認するとともに、それらの進歩と発展、向上について考え、さらには地域における福祉施設や介護福祉士の意義や役割についても考察する。また、介護にとって最も重要なケアプランの作成と実施、更には実施後の評価によるケアプランの見直し方法や再実施の方法等についても実際の現場を通して学習します。

平成29年3月卒業生の進路状況

就職先		卒業生数
①居宅サービス事業所等（基準該当事業所を含む。）		4
②介護保険施設		14
③障害福祉サービス事業所（基準該当事業所を含む。）		1
④障害者支援施設		1
⑤保護施設		
⑥児童福祉施設		
⑦社会福祉協議会		1
⑧その他		
⑨公務員	国	
	都道府県	
	市（区）町村	
⑩医療機関		2
⑪他産業		
⑫進学		1
⑬未就労		
合計		24

## 専任教員に関する調書

養成施設名	びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科介護福祉コース		
氏名	山 和美		
生年月日	昭和 30 年 月 日	年齢	歳
最終学歴	滋賀文化短期大学人間福祉学科介護福祉専攻卒業		
教育 歴 ・ 職 歴	名 称	教育内容又は業務内容	年 月
	滋賀県甲良町社会福祉協議会	介護保険事業室 主任生活相談員 (介護職)	平成 14 年 4 月～ 平成 16 年 3 月
	滋賀文化短期大学	実習センター (実習助手)	平成 16 年 4 月～ 平成 19 年 3 月
	特別養護老人ホーム「もみじ」	非常勤職員 (介護職)	平成 16 年 4 月～ 平成 20 年 3 月
	滋賀文化短期大学	人間福祉学科 助教	平成 19 年 4 月～ 平成 21 年 3 月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 講師	平成 21 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 准教授	平成 27 年 4 月～ 現在に至る
資格 ・ 免許 ・ 学位	名 称	取 得 機 関	取得年月日
	介護福祉士	厚生労働省	平成 14 年 3 月 22 日
	介護教員講習会修了	日本介護福祉士養成施設協会	平成 22 年 1 月 6 日

## 専任教員に関する調書

養成施設名	びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科介護福祉コース		
氏名	片山 弘紀		
生年月日	昭和 47 年 月 日	年齢	歳
最終学歴	立命館大学大学院応用人間科学研究科対人援助学領域 修了		
教育 歴 ・ 職 歴	名称	教育内容又は業務内容	年月
	社会福祉法人全電通近畿社会福祉事業団	特別養護老人ホームハートふる須磨 在宅介護支援センター担当 (介護職)	平成 7 年 4 月～ 平成 10 年 3 月
	社会福祉法人全電通近畿社会福祉事業団	特別養護老人ホームハートふる須磨 在宅介護支援センター担当 (相談職)	平成 10 年 4 月～ 平成 16 年 3 月
	社会福祉法人全電通近畿社会福祉事業団	特別養護老人ホームハートふる須磨 在宅介護支援センター担当 (相談職パートタイム)	平成 16 年 4 月～ 平成 18 年 3 月
	滋賀文化短期大学	人間福祉学科 講師	平成 18 年 4 月～ 平成 21 年 3 月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 講師	平成 21 年 4 月～ 平成 23 年 3 月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 准教授	平成 23 年 4 月～ 現在に至る
資格 ・ 免許 ・ 学位	名称	取得機関	取得年月日
	社会福祉士	厚生労働省	平成 9 年 4 月 16 日
	介護福祉士	厚生労働省	平成 11 年 5 月 20 日
	修士 (人間科学)	立命館大学	平成 18 年 3 月
	介護教員講習会修了	日本介護福祉士養成施設協会	平成 22 年 7 月 14 日

## 専任教員に関する調書

養成施設名	びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科介護福祉コース		
氏名	吉原 真紀		
生年月日	昭和39年 月 日	年齢	歳
最終学歴	山梨県立高等看護学院 看護第Ⅱ学科 卒業		
教育 歴 ・ 職 歴	名 称	教育内容又は業務内容	年 月
	山梨県立中央病院	看護師	昭和60年4月～ 平成3年3月
	リハビリテーションセンター 富士温泉病院	看護師	平成3年4月～ 平成4年11月
	和泉市立病院	非常勤看護師	平成5年1月～ 平成6年3月
	甲良町社会福祉協議会 せせらぎデイサービス	非常勤看護師	平成14年9月～ 平成16年9月
	社会福祉法人 あすなろ福祉会 特別養護老人ホーム いやしのさと	非常勤看護師	平成16年10月～ 平成19年3月
	医療法人 友仁会 彦根市佐和山デイサービスセンター	非常勤看護師	平成19年4月～ 平成23年3月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 非常勤講師	平成22年4月～ 平成23年3月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 助教	平成23年4月～ 平成27年3月
びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 講師	平成27年4月～ 現在に至る	
資 格 ・ 免 許 ・ 学 位	名 称	取 得 機 関	取得年月日
	准看護師免許	山梨県	昭和58年4月15日
	看護師免許	厚生労働省	昭和60年5月23日
	介護教員講習会修了	日本介護福祉士養成施設協会	平成23年3月31日
医療的ケア教員講習会	日本介護福祉士養成施設協会	平成24年2月5日	

## 専任教員に関する調書

養成施設名	びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科介護福祉コース		
氏名	山ノ井 勉		
生年月日	昭和48年 月 日	年齢	歳
最終学歴	東北福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専修修士課程 修了		
教育歴・職歴	名称	教育内容又は業務内容	年月
	学校法人 聖十字福祉専門学校	社会福祉士科 専任講師	平成11年4月～ 平成17年3月
	学校法人 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校	介護福祉学科 専任講師	平成17年4月～ 平成24年3月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 非常勤講師	平成24年4月～ 平成25年3月
	びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 助教	平成25年4月～ 平成26年3月
びわこ学院大学短期大学部	ライフデザイン学科 講師	平成26年4月～ 現在に至る	
資格・免許・学位	名称	取得機関	取得年月日
	社会福祉主事任用資格	東北福祉大学	平成8年3月
	修士(社会福祉)	東北福祉大学	平成11年3月
	介護教員講習会修了	日本介護福祉士養成施設協会	平成20年2月29日

## シラバス参照

講義名	人間の尊厳と自立
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(ラ・地)選択 (介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福島 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①医療技術など科学の進歩に伴う多様な考え方を理解することができる。 ②人間の尊厳と自立を中心に、現代人として必要な倫理観、自立観を形成することができる。 ③自分自身の倫理観に基づいた考え方を、他人に説明することができる。
授業概要	演習形式の講義を行う。高齢化や家族観の変化に伴う死生観の変容、医療技術の進歩による生命・倫理観の多様化と専門的支援のあり方を学ぶ。演習形式の授業なので遅刻、授業開始後の入室は認めない。 授業中の携帯電話、スマートフォンの使用は一切認めない。発見した場合、当該日は欠席扱いにする。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	ガイダンス 講義の進め方や成績の評価方法、この講義の基本的考えを説明する。	【講義形式】 【成績評価法】	予習：「尊厳」「自立」という言葉の意味を調べる。(90分) 復習：自立することの意味を理解する。(90分)
第2回	尊厳、自立とはなにか。	【人間とは】	予習：人間とはなにかを調べる。(90分) 復習：社会的存在としての人間を理解する。(90分)
第3回	人間とはなにか 多様な自立観を考える(1)	【自立と自律】	予習：「自立」と「自律」の違いを調べる。(90分) 復習：自立することの意味をまとめる。(90分)
第4回	人間とはなにか 多様な自立観を考える(2)	【自立と自律】	予習：「自立」と「自律」の違いを考える。(90分) 復習：どのような状態を自立と言うのかを考える。(90分)
第5回	なぜ専門家は尊厳を大切にしなければいけないか。	【尊厳】	予習：「尊厳」という言葉の意味を調べる。(90分) 復習：なぜ尊厳を大切にしなければいけないのかを考える。(90分)
第6回	命の大切さを考える(1) 臓器移植を通して命を考える	【脳死の定義・心臓死】	予習：臓器移植、脳死について調べる。(90分) 復習：臓器移植の意味を考える。(90分)
第7回	命の大切さを考える(2) 臓器移植を通して命を考える	【脳死・尊厳死・延命医療】	復習：臓器移植の是非について、命について考える。(180分)
第8回	支援が必要な人の自立を考える(1) 「こんな夜更けにバナナかよ」(渡辺一史 著)を通して	【自立とわがまま】	予習：障害者の自立について調べる。(90分) 復習：障害者の自立を考える。(90分)
第9回	支援が必要な人の自立を考える(2) 「こんな夜更けにバナナかよ」(渡辺一史 著)を通して	【依存とわがまま】	予習：自立と依存の関係について調べる。(90分) 復習：自立と依存は併存可能かを考える。(90分)
第10回	人工中絶・着床前診断を通して尊厳と命を考える(1)	【生命・倫理】	予習：着床前診断に関する諸情報を調べる。(180分)

第11回	人工中絶・着床前診断を通して尊厳と命を考える(2)	【生命・倫理】	復習：診断の意味、是非を考える。(180分)
第12回	延命と尊厳死を考える(1)	【延命・尊厳死・QOL】	予習：尊厳死という言葉の意味を調べる。(90分) 復習：尊厳死の是非と命について考える。(90分)
第13回	延命と尊厳死を考える(2)	【延命・尊厳死・QOL】	復習：現代社会における、尊厳死の意味や是非について考える。(180分)
第14回	QOLを考える	【支援とQOL】	予習：QOLの意味を調べる。(90分) 復習：なぜQOLが大切なのかを考える。(90分)
第15回	まとめ	【尊厳と自立】	復習：「尊厳」「自立」が人間にとって大切なのかを考える。(180分)

テキスト	適宜、資料を配布
参考書・参考資料等	適宜、紹介する。
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	人間関係とコミュニケーションb
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	社会福祉の構築に必要なコミュニケーションの基本的な考え方が説明できる。
授業概要	社会福祉の構築や維持のために必要な幅広いコミュニケーションについての知識を学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【オリエンテーション】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する(50分) 復習：ノートの再読(90分)
第2回	社会福祉におけるコミュニケーション①	【直接援助技術】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第3回	社会福祉におけるコミュニケーション②	【間接援助技術】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第4回	個別に対する専門的なコミュニケーション①	【ケースワーク】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第5回	個別に対する専門的なコミュニケーション②	【バイステック】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第6回	個別に対する専門的なコミュニケーション③	【記録】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第7回	集団に対する専門的なコミュニケーション①	【グループワーク】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第8回	集団に対する専門的なコミュニケーション②	【グループワークの手法】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第9回	集団に対する専門的なコミュニケーション③	【記録】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第10回	地域に対する専門的なコミュニケーション①	【コミュニティワーク】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第11回	地域に対する専門的なコミュニケーション②	【コミュニティワークの手法】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第12回	地域に対する専門的なコミュニケーション③	【地域における専門職】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第13回	社会福祉で活用される専門的なコミュニケーション④	【調査、運営、計画、活動手法】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第14回	社会福祉で活用される専門的なコミュニケーション⑤	【カウンセリング・コーチング】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える、ノートの整理(120分)
第15回	まとめ	【まとめ】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(100分)

テキスト	適宜、資料を配布
参考書・参考資料等	適宜、紹介
上記到達目標の評価の方法	小テスト…(50%) 個別レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生活と福祉
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(ラ・地)選択 (介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①私たちの生活と福祉との関係について理解することができる。
授業概要	人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられる。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学ぶ。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【授業概要、ルール】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。(50分) 復習：ノートの再読(90分)
第2回	社会福祉の法律・制度の概要	【福祉ニーズ、社会保障】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第3回	社会福祉の理論	【発達史】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第4回	福祉政策、計画、行政の要点	【高齢者、障害者福祉計画】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第5回	諸外国の福祉政策	【海外の福祉政策】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第6回	地域福祉の発展	【地域福祉サービス】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第7回	福祉問題	【ドキュメンタリー】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(90分)
第8回	福祉問題	【ドキュメンタリー】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(90分)
第9回	高齢者に対する支援	【介護保険制度の仕組み】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第10回	児童、家庭福祉制度	【児童福祉サービス】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第11回	雇用に関する支援	【就労支援サービス】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第12回	講演（特別養護老人ホーム）	【特別養護老人ホーム】	予習：事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第13回	講演（老人保健施設）	【老人保健施設】	予習：事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第14回	講演（デイサービス）	【デイサービス】	予習：事前学習(90分) 復習：振り返り、ノート整理(120分)
第15回	まとめ	【振り返り】	予習：語句を覚える 復習：振り返り(100分)

テキスト	適宜、資料を配布
参考書・参考資料等	適宜紹介
上記到達目標の評価の方法	授業中の小テスト…(50%) 平常点(受講態度等)…(30%)

	小レポート…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	社会保障制度総論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福嶋 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①社会保障制度を体系的に理解ができる。 ②社会保険制度を理解し、社会資源の活用力を付ける。 ③社会保障制度の機能と意義について理解できる。
授業概要	現代社会におけるセーフティーネットとしての社会保障の目的、機能を講義し、少子高齢社会のわが国の社会保障の課題について考察する。とりわけ、年金、医療、介護、福祉サービスを体系的に理解する力を獲得する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	現代社会における社会保障の意義	【税と社会保障の一体改革・新自由主義】	予習：社会保障とはなにかを調べる。(180分)
第2回	日本の社会保障の発達 (1) 戦前	【社会保障の目的】	予習：戦前、どのように福祉課題を解決していたのかを調べる。(180分)
第3回	日本の社会保障の発達 (2) 戦後	【社会の変化と社会保障】	予習：戦前、戦後の社会の変化について調べておく。(180分)
第4回	社会の変化と家族機能の変化(1)	【大家族・核家族・単身世帯の増加】	予習：家族の変化について予習をする。(180分)
第5回	社会の変化と家族機能の変化(2)	【少子化・高齢化社会】	予習：少子高齢化のメカニズムについて予習をする。(180分)
第6回	社会の変化と家族機能の変化(3)	【家族機能・地域機能】	予習：家族の機能とは何なのかを予習すること。(180分)
第7回	諸外国の社会保障制度(1)	【産業革命・社会保険の登場】	予習：社会保険が必要になってきた背景を調べる。(180分)
第8回	諸外国の社会保障制度(2)	【産業革命・社会保険の登場】	予習：資本主義の台頭と社会保障の関連について調べる。(180分)
第9回	諸外国の社会保障制度(3)	【資本主義と社会保障】	予習：資本主義とは何かを調べる。(180分)
第10回	社会福祉と社会保障(1)	【社会保障と社会福祉】	予習：社会保障の社会的位置づけについて調べる。(180分)
第11回	社会福祉と社会保障(2)	【社会保険・社会の変化】	予習：社会の変化と社会保険の関連について調べる。(180分)
第12回	社会保障の課題(1)	【負担と給付】	予習：国家予算に占める社会保障費について予習する。(180分)
第13回	社会保障の課題(2)	【負担と給付】	予習：社会保障費の推移について予習する。(180分)
第14回	社会保障と負担	【消費税】	予習：少子高齢化と社会保障費の負担、の関係について調べる。(180分)
第15回	まとめ		復習：社会保障制度の必然性について、理解する。(180分)

## テキスト

適宜、プリント、資料を配布

参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(100%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	情報処理論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 長嶺 共全	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	基本的な情報処理技術を学ぶという授業テーマのもと、様々な情報処理に関する基礎的な知識や技術について、実際の社会現場で十分応用可能なレベルまで理解することができる。
授業概要	現在では、多くの社会分野において情報処理技術の導入が盛んであり、かなりの人間がその恩恵に与っていることは間違いないであろう。そこで、本授業では、その技術を実際に行うコンピュータやソフトウェア、マルチメディアの仕組みや働きについて学び、更にインターネットやモバイル端末、LAN等によるWeb技術に関する基本的な知識も学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	授業オリエンテーション・ハードディスクの技術	【授業方針の説明】 【コンピュータ】 【ハードディスク】 【CD-ROM】	復習：授業の振り返り(30分)
第2回	インターネットの技術について	【インターネットのしくみ】 【TCP/IP】 【WebページとHTML】 【ドメイン】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第3回	ネットの脅威とセキュリティ 1	【コンピュータウィルス】 【フィッシング】 【情報漏えい】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第4回	ネットの脅威とセキュリティ 2	【暗号化】 【サイトとプロフ】 【P2P】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第5回	情報倫理とルール 1	【個人情報】 【知的財産権】 【著作権】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第6回	情報倫理とルール 2	【ネットコミュニケーション】 【迷惑メール】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第7回	コンピュータの基礎 1	【コンピュータの歴史】 【2進法】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第8回	コンピュータの基礎 2	【標本化と量子化】 【アルゴリズム】 【エラー検出とエラー訂正】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第9回	情報化社会について 1	【情報システム】 【電子商取引】 【電子マネー】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第10回	情報化社会について 2	【身近なコンピュータ】 【身体への影響】 【ユニバーサルデザイン】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り(60分)
第11回	インターネットの利用について 1	【検索エンジン】 【BBSと2チャンネル】 【SNS】	予習：キーワードの事前検索(30分)

			分) 復習：授業の振り返り(60分)
第12回	インターネットの利用について2	【CMS】 【Wikipedia】 【メールコミュニケーション】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り・小試験対策(120分)
第13回	メディアと表現技術について	【IP電話】 【チャットとメッセージ】 【動画共有サイトと動画投稿】	予習：キーワードの事前検索(30分) 復習：授業の振り返り・小試験対策(180分)
第14回	まとめ(理解度確認小試験1)	【理解度確認小試験の実施と解説】	予習：小試験対策(450分) 復習：授業の振り返り・小試験対策(450分)
第15回	まとめ(理解度確認小試験2)	【理解度確認小試験の実施と解説】	予習：小試験対策(450分) 復習：授業の振り返り・小試験対策(60分)
<b>テキスト</b>	適宜、プリント、資料を配布		
<b>参考書・参考資料等</b>	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
<b>上記到達目標の評価の方法</b>	授業中の小試験…(90%) 平常点(受講態度等)…(10%)		
<b>履修しておくべきことが望まれる科目</b>	特になし		
<b>教材費用・実習費用等の負担費用</b>	検定試験費用は自己負担とする		
<b>その他特記事項</b>	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	現代基礎教養（数学）A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 東田 充弘	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

## 本科目の到達目標

- ①日常生活にも、卒業後の仕事にも、「数学的な考え方」が必要であることを理解する。  
 ②数学の基本的な概念と技能を用いて、合理的な思考ができる。

## 授業概要

中学で学習した数学に含まれる「数学的な考え方」について、新しい視点から理解し、主体的に活用することの有用性に気づかせる。その結果として、中学数学に関わる基礎的練習問題に対応できる能力も向上させる。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	数字と数値	【自然数】，【加法】，【乗法】，【減法】，【負の数】，【除法】，【小数】，【分数】，【有理数】	復習：レポート課題(180分)
第2回	文字を使った式	【項】，【整式】，【分数式】，【等式】，【演算子】，【方程式】	復習：レポート課題(180分)
第3回	1次方程式	【1次方程式】	復習：レポート課題(180分)
第4回	連立方程式	【連立方程式】	復習：レポート課題(180分)
第5回	1次関数	【1次関数】，【関数】，【グラフ】	復習：レポート課題(180分)
第6回	素因数分解と因数分解	【因数】，【素因数】，【因数分解】	復習：レポート課題(180分)
第7回	平方根	【平方根】，【有理数】，【無理数】	復習：レポート課題(180分)
第8回	2次方程式	【2次方程式】	復習：レポート課題(180分)
第9回	2次関数	【2次関数】，【放物線】	復習：レポート課題(180分)
第10回	数直線と座標軸	【座標】，【距離】，【移動】	復習：レポート課題(180分)
第11回	2次関数の利用	【定義域】，【値域】，【最大値・最小値】	復習：レポート課題(180分)
第12回	不等式	【不等号】	復習：レポート課題(180分)
第13回	練習問題（1）		復習：レポート課題(180分)
第14回	練習問題（2）		復習：レポート課題(180分)
第15回	練習問題（3）		復習：レポート課題(180分)

## テキスト

必要に応じて資料を配布する

## 上記到達目標の評価の方法

レポート課題（40%），小テスト（40%），平常点（20%）

## 教材費用・実習費用等の負担費用

なし

## シラバス参照

講義名	現代基礎教養（社会）A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 後藤 真吾	びわこ学院大学 教育福祉学部 スポーツ教育学科

本科目の到達目標	①社会分野における基礎的な用語・知識を理解し、社会人としての教養を身につけることができる。
授業概要	短期大学において学修を進める際に習得しておくべき事項、とりわけ現代社会人の教養として必要な社会分野に即して講義する。 原則として、講義(60分)、前時間の復習(15分)、講義振り返りレポートの作成(15分)とする。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	ガイダンス（進め方、総論）	【授業方針や授業内容等についての説明】	復習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分）
第2回	私たちの暮らしと法律	【日本国憲法】【立憲主義】【法治国家】【三権分立】【国会の立法権】【裁判制度】【裁判員裁判】【公務員】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分） キーワードについて事前に調べる（30分） 復習：講義内容の整理（90分）
第3回	政治①・国の施策と税金	【議員】【民主政治】【税の分担】【直接税、間接税】7【国債】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分） キーワードについて事前に調べる（30分） 復習：講義内容の整理（90分）
第4回	政治②・選挙と議員報酬	【選挙制度】【公職選挙法の改正】【国会の役割】【政治資金】【議員報酬】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分） キーワードについて事前に調べる（30分） 復習：講義内容の整理（90分）
第5回	政治③・国際社会と政治および経済の基礎知識	【国際法】【国際連合】【外交政治】【隣国関係】 【貿易】【為替】【海外依存率】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分） キーワードについて事前に調べる（30分） 復習：講義内容の整理（90分）
第6回	経済①・暮らしと経済	【給料】【家賃】【食費】【光熱水費】【被服費】【交際費】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分） キーワードについて事前に調べる（30分） 復習：講義内容の整理とまとめ（120分）
第7回	経済②・アルバイトとローン	【最低賃金】【割増賃金】【ローン】【金利】【預金と投資】 【授業の単価】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する（60分） キーワードについて事前に調べる（30分）

			べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第8回	経済③・働き方と見える給料・見えない給料	【正規雇用(正社員)】【派遣社員】【パート・アルバイト雇用】 【契約労働】 【労働者災害補償保険】【雇用保険】【健康保険】【福利厚生】 【ブラック企業】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第9回	社会保障①・働き続けられる職場	【基本給と手当】【労働基準法】【労働安全衛生法】【ハラスメント】 【働き甲斐】【保育所問題】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第10回	社会保障②・若者と年金	【国民年金と厚生年金】【老齢基礎年金】【障害基礎年金】【遺族基礎年金】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
第11回	社会問題①・環境問題	【温暖化】【原子力発電】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第12回	社会問題②・暮らしと子どもを守る／貧困、虐待	【社会保障】【セーフティネット】【生活保護】 【教育の保障】【虐待】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
第13回	社会問題③・私らしく生きる／LGBT、民族差別	【LGBT】【身体の性、心の性】【パートナー条例】【ネット社会】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第14回	社会問題④・グローバリズムとナショナリズム	【宗教】【多国籍企業】【経済圏】【自国主義】【難民問題】 【ヘイトスピーチ】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第15回	社会問題⑤・超高齢化社会	【老人の再定義】【年金】【貧困老人】【フリーランス】【下流志向】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
テキスト	適宜、プリント、資料を配布		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(55%) 授業の振り返りレポート…(45%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、講義の進め方や内容、計画が変更されることもあります。		

## シラバス参照

講義名	リーダーシップ論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 牧田 衛活	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①リーダーシップとは何かを理解し説明できる。 ②世の中でどんなリーダーが活躍しているか理解し説明できる。 ③リーダーシップを持つことの意欲を身に着ける事ができる。
授業概要	チームや組織が成功するためにはリーダーの能力がカギを握る。チームとは何か。リーダーとは何か。チーム成功のコツとは。社会人として企業等で活躍するために必要な要素を、様々な団体企業のリーダーを例に挙げ、具体的にリーダーとしての必要なスキルを学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	イントロダクション	【授業概要説明】	復習：授業での目標を考える(90分)
第2回	リーダーとは何か	【リーダーの条件】	予習：リーダーとは何か考える(90分) 復習：自分の考えと授業を比較(90分)
第3回	チーム成功のコツ	【リーダーの役割】	予習：リーダーの役割を考える(90分) 復習：自分の考えと授業を比較(90分)
第4回	社会が必要とする力	【社会におけるリーダーの役割】	予習：社会のリーダーを考える(90分) 復習：自分の考えと授業を比較(90分)
第5回	企業におけるリーダー論①	【企業におけるリーダーの役割】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第6回	企業におけるリーダー論②	【企業におけるリーダーの役割】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第7回	企業におけるリーダー論③	【企業におけるリーダーの役割】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第8回	スポーツ界のリーダーシップ①	【スポーツ界のリーダーの役割】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第9回	スポーツ界のリーダーシップ②	【スポーツ界のリーダーの役割】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第10回	スポーツ界のリーダーシップ③	【スポーツ界のリーダーの役割】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第11回	その他の分野でのリーダーシップ①	【その他の世界のリーダー達】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第12回	その他の分野でのリーダーシッ	【その他の世界のリーダー達】	予習：各回で取り上げる人物の概要や人物像を調べる(90分)

	ブ②		分) 復習：ウイークリーレポートの作成(90分)
第13回	歴史上におけるリーダー達①	【歴史上の人物のリーダー達】	復習：最終提出資料の整理(90分)
第14回	歴史上におけるリーダー達②	【歴史上の人物のリーダー達】	復習：最終提出資料の整理(90分)
第15回	まとめ	【復習】	
テキスト	適宜、プリント、資料を配布		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	レポート…(50%) 平常点…(50%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	協働・組織活動論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 平尾 良治	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	① 住民の主体的な参加と住民自治による地域福祉活動を評価する視点を理解し、そうした取り組みの意義を自分のことばで語ることができる。 ② 地域住民や地域の福祉専門職と連携して仕事をすすめるために、地域の生活実態や福祉課題をデータとしてまとめ、共有することができる。
授業概要	2000年の社会福祉法の施行を契機に様々な地域福祉活動が広がってきた。その結果、地域に存在する多様な住民組織は、行政・関連機関と協働して、地域福祉サービスを展開し活動を充実させてきている。本講義では、地域福祉の具体的な姿に学びつつ、住民主体の地域福祉活動の本質を学ぶ。その上で住民主体の地域福祉活動を発展させるために必要な地域の生活課題を共有する方法、および地域福祉における行政機関や福祉施設の専門職が果たす役割について検討する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【協働組織とは、授業の進め方、枠組み】	予習：シラバス精読(30分) 復習：レポート(90分)
第2回	社会保障・社会福祉における地域福祉の位置と役割	【社会保障、社会福祉、地域福祉】	予習：資料読了・構造改革と社会保障制度(90分) 復習：レポート(90分)
第3回	生存権保障としての社会福祉（地域福祉）	【憲法の体系、生存権、地域福祉の意味】	予習：憲法前文・9条・25条・13条・97条等(90分) 復習：レポート(90分)
第4回	地域福祉活動の実際 1	【ふれあいサロン、住民活動ポイント】	予習：資料読了・地域福祉と地域福祉活動(90分) 復習：レポート(90分)
第5回	地域福祉活動の実際 2	【福祉大会、子育て支援活動の実際】	予習：資料読了・地域サロンと地域福祉活動(90分) 復習：レポート(90分)
第6回	地域福祉活動の実際 3	【智頭町の町づくり、住民自治】	予習：予習：資料読了・住民主体とまちづくり(90分) 復習：レポート(90分)
第7回	地域の中に福祉活動をつくる取り組み	【大阪市、出発の会、作業所、グループホーム】	予習：資料読了・障害者運動と地域福祉活動(90分) 復習：レポート(90分)
第8回	地域福祉の担い手	【住民、社協職員、コーディネーター、民生委員】	予習：資料読了・地域福祉活動の担い手 1(90分) 復習：レポート(90分)
第9回	地域福祉の機関	【非営利団体、当事者組織、町内会】	予習：資料読了・地域福祉活動の担い手 2(90分) 復習：レポート(90分)
第10回	地域の生活問題の把握 1	【地域の生活問題とそれを捉える枠組、データの見方・考え方】	予習：資料読了・実態調査と地域福祉活動 1(90分) 復習：統計資料分析ドリル(90分)
第11回	地域の生活問題の把握 2	【クロス集計表の分析】	予習：資料読了・実態調査と地域福祉活動 2

			(90分) 復習：クロス集計ドリル(90分)
第12回	地域福祉とまちづくり	【草津市福祉活動計画、山田学区、老上学区】	予習：資料読了・山田/老上の地域福祉活動(90分) 復習：レポート(90分)
第13回	富山方式・このゆびとまれ1	【共生ケアの理念、地域連携】	予習：資料読了・地域福祉の理念と富山方式(90分) 復習：レポート(90分)
第14回	富山方式・このゆびとまれ2	【共生ケアの援助、職場集団】	予習：資料読了・富山方式とまちづくり(90分) 復習：レポート(90分)
第15回	住民の主体的な参加と自治にもとづく福祉のまちづくり	【主体的な参加、住民自治、福祉のまちづくり】	予習：資料読了(90分) 復習：授業ポイントの整理(90分)
テキスト	適宜、プリント、資料を配布		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	試験…(60%) レポート…(20%) 班討議・役割…(10%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	人間福祉概論		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	レクリエーション論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①社会福祉サービスにおけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。 ②レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。
授業概要	社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【授業方針や授業内容および評価についての説明】 【自己紹介】	予習：シラバスの確認(90分) 復習：授業計画の整理・確認(90分)
第2回	レクリエーションの歴史と人間社会	【遊びとは】 【社会福祉におけるレクリエーションの歴史】	予習：日常生活におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第3回	レクリエーションの活動領域	【行政下のレクリエーション】	予習：社会生活におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第4回	日常生活とレクリエーション	【レクリエーションの社会化・日常化】	予習：現代社会におけるレクリエーションとは何か調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第5回	レクリエーションの参加者と支援者の役割	【指導と支援】 【共生】	予習：社会福祉におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第6回	個人・集団のレクリエーション	【個人と集団】 【家族】 【嗜好と現実性】	予習：レクリエーション財について調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第7回	社会福祉におけるレクリエーション活動	【自立と自律】 【自己実現】	予習：これまでの授業を復習する(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第8回	介護従事者とレクリエーション活動	【自立と自律】 【自己実現】	予習：前授業の復習をする(90分) 復習：課題を整理し、調べ、まとめる(90分)
第9回	中間まとめ	【レポート】	予習：これまでの学修の整理・まとめ・振り返り(90分) 復習：課題のまとめ・振り返り(90分)
第10回	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①	【レクリエーション活動の展開・企画】 【グループワーク】	予習：対象者に応じたレク財を調べ、まとめる(90分) 復習：授業内容の整理・まとめ(90分)
第11回	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②	【レクリエーション活動の展開・企画】 【グループワーク】	予習：対象者に応じたレク財を調べ、まとめる(90分) 復習：授業内容の整理・まとめ(90分)

第12回	レクリエーション活動の実際①	【レクリエーション活動の展開】 【実践・振り返り】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第13回	レクリエーション活動の実際②	【レクリエーション活動の展開】 【実践・振り返り】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第14回	レクリエーション活動の実際③	【レクリエーション活動の展開】 【実践・振り返り】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第15回	授業の振り返り	【振り返りとまとめ】	予習：全授業の復習(90分) 復習：レクリエーション活動における課題の整理(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を提示する
上記到達目標の評価の方法	まとめ(レポート)…(30%) 中間まとめ(レポート)…(30%) 平常点(レクリエーションの実践)…(40%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

## シラバス参照

講義名	法と社会
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 法的なものの見方や、考え方ができるようになる。 2. これまでの価値観と、法的思考とを組み合わせることで、客観的に物事を分析できる力がつく。
授業概要	本講義では、私達が日常生活を営む上での行為が、法律的にどう位置付けられるのかを学ぶものである。具体的には、物を購入する際には法的な契約を結ぶだけでなく、消費者保護の法制度との関係も生じてくる。また、学生一人一人のライフサイクルからは、結婚や離婚、育児や親の面倒見、ひいては遺言や相続といった問題も遠からず関係する法的問題である。よって、本講義では、これら私たちの暮らしと法律の関係を学ぶことを目的としながら、法的なものの見方を習得するものである。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	私たちのくらしと法律学	【法的な考え方とは】	予習：法というものの考え方(90分) 復習：講義の進め方と予習の仕方が理解できたか(90分)
第2回	法的なものの考え方とは？	【暮らしの中の法律と根拠】	予習：法的な視点とは(90分) 復習：法律特有のクセが理解できたか(90分)
第3回	民法の基本原則	【「契約」というもののとらえ方】	予習：民法とは(90分) 復習：家族法・財産法のカテゴリーが理解できたか(90分)
第4回	結婚と法	【好きだけでは結婚できない】	予習：一緒になるとはどういうことか(90分) 復習：法という考え方が結ばれることが理解できたか(90分)
第5回	離婚と法	【嫌いになった時にはじめてわかる法律】	予習：離婚とは(90分) 復習：別れる上での法的問題が理解できたか(90分)
第6回	親子関係と法①（高齢社会と扶養）	【親の面倒を見ることは義務なのか】	予習：親子間での責任とは(90分) 復習：老親の面倒を見るということ(90分)
第7回	親子関係と法②（高齢社会と遺言）	【最期に残すメッセージ】	予習：最期のメッセージ(90分) 復習：遺言の書き方が理解できたか(90分)
第8回	刑法の基本原則	【罪刑法定主義という考え】	予習：罪と罰について(90分) 復習：人が人を罰するという事(90分)
第9回	少年事件から見た刑法	【少年であっても、死刑は死刑】	予習：少年の犯罪(90分) 復習：少年と成人との刑罰の違い(90分)
第10回	消費者と法	【商品、消費者という考え方】	予習：消費するということ(90分) 復習：消費能力がない場合のケースでは(90分)
第11回	被害救済と法	【世の中、理不尽なことが多すぎる】	予習：被害者になるということ(90分) 復習：被害者救済の仕組みが理解できたか(90分)
第12回	夫婦生活と法	【セックスレスは離婚に該当するのか】	予習：夫婦という他人(90分) 復習：夫婦であることの責任と義務(90分)
第13回	情報と法	【すべての秘密はすべて漏れている】	予習：「忘れ去られる権利」について(90分) 復習：ネット社会の功罪が理解できたか(90分)

第14回	教育と法	【法の下では平等なのか？ 教育格差について】	予学ぶということ習：(90分) 復習：法的にみた教育格差(90分)
第15回	医療と法	【医療は科学であり法を超えている】	予習：生殖医療の進歩(90分) 復習：産むというより作るという方が…(90分)
テキスト		適宜、プリント、資料を配布	
参考書・参考資料等		必要に応じ、参考書籍・資料等を配布	
上記到達目標の評価の方法		期末筆記試験…50% レポート…30% 平常点…20%	
履修しておくべきことが望まれる科目		特になし	
教材費用・実習費用等の負担費用		特になし	
その他特記事項		特になし	

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	社会保障制度各論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福嶋 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①社会保障全般にわたる知識を修得し、理解できる。 ②対人援助の現場で社会保証サービスを理解し実践できる力を獲得。
授業概要	社会保障制度各論では、介護保険法・障害者自立支援法の基礎知識を学び、さらに、個人情報保護、情報公開制度、第三者評価と成年後見制度、高齢者虐待防止制度の仕組みを理解する。これらの制度が高齢者や障害者の自立生活・日常生活を支援するために必要の高い制度であることについても理解する。またわが国での医療保障制度や生活習慣病予防等の健康づくり施策、介護福祉と密接に関連する医療関係者等との連携を考える上で必要とされる法規など、介護実践において必要な基礎知識の習得も目指す。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	現代社会における社会保障の意義	【家族機能と社会保障】	予習：社会保障とはなにかを調べる（180分）
第2回	日本の社会保障の発達（1）戦前	【選別的福祉・救済制度】	予習：戦前、どのように福祉課題を解決していたのかを調べる（180分）
第3回	日本の社会保障の発達（2）戦後	【普遍的福祉・高度経済成長】	予習：経済成長と福祉ニーズの関係について調べる。（180分）
第4回	諸外国の社会保障制度（1）	【ビ・ハレッジ報告】	予習：なぜイギリスが戦後、福祉国家になったのかを調べる。（180分）
第5回	諸外国の社会保障制度（2）	【所得保障医療保障介護保障】	予習：福祉先進国の税負担と給付について調べる。（180分）
第6回	社会保険（1）年金	【世代間扶養基礎年金厚生年金】	予習：年金制度の課題について調べる。（180分）
第7回	社会保健（2）医療 その1	【医療保険】	予習：医療保険制度の課題について調べる。（180分）
第8回	社会保険（3）医療 その2	【医療保険】	予習：医療保険の成り立ち、種類について調べる。（180分）
第9回	社会保険（4）介護保険 その3	【介護保険】	予習：介護保険制度の概要について調べる。（180分）
第10回	社会保険（5）労災保険・雇用保険	【労災保険・雇用保険】	予習：労災保険、雇用保険の概要について調べる。（180分）
第11回	公的扶助（1）	【生活保護】	予習：生活保護制度の概要について調べる。（180分）
第12回	公的扶助（2）	【生活保護】	予習：生活保護制度の給付の仕組みについて調べる。（180分）
第13回	社会福祉サービスと社会福祉法	【国民のニーズ変化と社会保障】	予習：貨幣的ニーズから非貨幣的ニーズに変化した背景を調べる。（180分）
第14回	少子高齢社会と社会保障	【消費税】	予習：消費税の誕生と少子高齢化の関連について調べる。（180分）

第15回	社会保障の課題と展望	【人口高齢化少子化国民所得】	復習：社会保障制度の必然性について、理解する。(180分)
テキスト	適宜、プリント、資料を配布		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(100%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	ライフデザイン基礎
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	1年次春～秋学期
受講者制限	介護福祉士養成コース

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

- ①対人援助や人材育成のあり方を理解することができる。  
 ②現代社会の基礎的問題を学び、考える力を養うことができる。また介護実践に必要な社会保障の制度、施策についての基礎的な知識を理解することができる。  
 ③家族・福祉・衣食住・消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得できる。

## 授業概要

社会・福祉・衣食住に関する基本的知識を講義を通して理解する。また演習を通して対人援助や衣食住に必要な基本的技術を習得する。この授業は4人の教員が受け持つ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【自己紹介・年間計画・個人面接】	
第2回	対人援助①:エンカウンター	【エンカウンター】	復習：振り返り(30分)
第3回	対人援助①:エンカウンター	【エンカウンター】	予習：話題を考えてくる(30分) 復習：振り返り(30分)
第4回	対人援助②:エンカウンター	【エンカウンター】	予習：話題を考えてくる(30分) 復習：振り返り(30分)
第5回	社会と人間	【現代社会・社会構造・社会問題】	予習：新聞等から現代社会の問題を考える(30分) 復習：振り返り(30分)
第6回	大規模災害と社会保障	【東日本大震災・社会保障・災害弱者】	予習：東日本大震災について調べる(30分) 復習：振り返りまとめ(30分)
第7回	現代社会と法	【福祉・理想と現実・まとめ】	復習：これまでの授業内容の復習(60分)
第8回	中間まとめ		復習：課題レポート(60分)
第9回	生活とアロマセラピー①	【からだの構造・五感】	予習：からだのしくみを確認してくる(30分) 復習：上肢(前腕・手の解剖)のレポート(30分)
第10回	生活とアロマセラピー②	【手浴・ハンドトリートメント】	予習：上肢の筋肉・骨・皮膚の確認(30分) 復習：ハンドトリートメントを実施した考察レポート(30分)
第11回	生活とアロマセラピー③	【芳香剤】	予習：アロマセラピーを応用した生活用品はどのような物があるか考えてくる(30分)

			分) 復習：作品の完成 (30分)
第12回	食について考える①	【献立・買い物・予算】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてくる (30分) 復習：メニュー表・調理表の作成 (30分)
第13回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習： 買い物・食材準備 (120分)
第14回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート (60分)
第15回	まとめ		復習：まとめのレポート作成 (60分)
第16回	オリエンテーション	【秋学期の予定・計画表の確認】	
第17回	食について考える②	【献立・調理法・予算・買い物】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてレポート作成 (30分) 復習：メニュー表・調理表の作成 (30分)
第18回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買い物・食材準備 (120分)
第19回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買い物・食材準備 (120分)
第20回	衣について①手縫いの基本技術	【並縫い・返し縫い・玉止め】	予習：以前に家庭科で学んだ縫い方を復習してくる (30分) 復習：作りたい作品を調べ、考えてくる (30分)
第21回	衣について②小物の作製	【縫い方の応用】	復習：作品づくり (60分)
第22回	衣について③小物の作製	【縫い方の応用】	復習：作品づくり完成 (60分)
第23回	中間まとめ		課題レポート (60分)
第24回	人材育成 (強みの探求) ①	【強み】	予習：自己の強みを考えてくる (30分) 復習：振り返り (30分)
第25回	人材育成 (強みの探求) ②	【強み】	予習：他者の強みを考えてくる (30分) 復習：振り返り (30分)
第26回	生活文化を考える： 茶道	【茶道】	予習：茶道について調べる (30分) 復習：振り返り (30分)
第27回	社会と人間	【ライフステージ・生きるとは・リーダーシップ】	復習：振り返りとまとめ (30分)
第28回	社会保障とライフステージ ①	【社会保険・年金・医療】	復習：これまでの振り返りとまとめ (60分)
第29回	社会保障とライフステージ ②	【児童福祉・労働法制・まとめ】	復習：まとめのレポート作成 (60分)
第30回	まとめ		予習：目標設定 (60分) 復習：振り返り (60分)
テキスト		適宜資料配布	
参考書・参考資料等		適宜紹介する。	
上記到達目標の評価の方法		レポート… (40%) 平常点… (60%)	
履修しておくべきことが望まれる科目		特になし	
教材費用・実習費用等の負担費用		特になし	
その他特記事項		特になし	

## シラバス参照

講義名	介護の基本 I
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護が、生活を支援するものであることを理解する。 ②その人らしい生活とはどのようなものか理解できる
授業概要	テキストに準拠しつつも、常に社会の動きを視野にいれ、その求めに応じるべき使命を自覚しつつ学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	何を学ぶか、なぜ学ぶか、どのように学ぶか、学びの結果	【オリエンテーション】	予習：シラバスの確認（90分） 復習：学習課題の整理（90分）
第2回	介護福祉の歴史と介護福祉サービスの社会化	【介護の歴史】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第3回	高齢社会と介護サービスの社会化	【介護保険制度】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第4回	介護福祉士の役割と機能	【社会福祉士及び介護福祉士法・専門職倫理】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第5回	介護における自立支援とは（様々な自立の概念）	【自立とは？】 【生活とは・社会とは】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第6回	介護における自立支援とは（障害のある人の自立）	【障害の理解】 【ノーマライゼーション】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第7回	介護におけるノーマライゼーションの理念	【その人らしさを考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第8回	介護におけるリハビリテーションの概念（介護予防・潜在能力の活用他）	【介護予防・リハビリテーション】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第9回	生活を支える介護 ① 生活の捉え方	【暮らしの継続性】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第10回	生活を支える介護 ② 高齢者の特徴と生活	【生活環境の捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第11回	生活を支える介護 ③ 障害のある人々の生活	【障害をもつということ】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる（90分） 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）

第12回	生活を支える介護 ④ 介護福祉士と生活支援	【「くつろぎの場」「安心して暮らせる生活の場」について考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第13回	生活を支える介護 ⑤ 日常生活支援の原則	【生活習慣と生活障害について】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第14回	生活を支える介護 ⑥ 日常生活支援の方法	【認知症の人・障害を持つ人の生活を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第15回	尊厳を支える介護 ① 自立を支える介護	【自立支援とは】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第16回	尊厳を支える介護 ② 個を支える介護	【利用契約制度】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第17回	中間まとめ	【レポート】	予習：講義の復習(90分) 復習：テーマに対する振り返りとまとめ(90分)
第18回	介護を支える環境 ① 環境と人間	【生活環境の捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第19回	介護を支える環境 ② プライバシーとコミュニティー	【プライバシー・人権を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第20回	介護を支える環境 ③ 住環境整備の在り方	【食寝分離】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第21回	介護を支える環境 ④ 地域包括ケアシステム	【地域包括ケアの視点】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第22回	高齢者虐待の防止	【グループワーク】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第23回	プライバシーの保護	【プライバシーを守るということ】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第24回	措置制度から契約へ	【社会全体で介護を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第25回	介護従事者の倫理	【事例検討】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第26回	尊厳を支える支援とは①(人権尊重とノーマライゼーション)	【尊厳とは何かを考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第27回	尊厳を支える支援とは②(QOL)演習	【事例検討】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第28回	自立に向けた介護①(ICFの考え方とリハビリテーション)	【介護におけるICFの捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第29回	自立に向けた介護②(ICFの考え方とリハビリテーション)	【介護におけるICFの捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第30回	まとめ	【まとめ】	予習：これまでの復習(90分) 復習：回答の確認・復習(90分)

テキスト	[題] 『介護の基本Ⅰ』 [著] 西村洋子・本名靖・綿祐二・柴田範子編 [出] 建帛社出版
参考書・参考資料等	[題] [著] [出]
上記到達目標の評価の方法	レポート…(30%) まとめ…(30%)

	課題…(10%) 平常点…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	レポート課題等は適宜連絡する。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある（講義内にて連絡する）。

[ウィンドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護の基本Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護サービスの内容や特徴を知り、その中での介護福祉士の役割を理解できる。 ②多職種連携の意義と目的について理解できる。 ③介護に携わる人が持つべき職業倫理が理解できる。
授業概要	教科書に準拠しつつも、社会の動静を視野に入れ、そこから発生した要請に応えるべき使命の自覚を促す。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	自らの使命を自覚し、学ぶ意欲を新たなものとする	【オリエンテーション】 【振り返り】	予習：シラバス・教科書を読み、授業の展開を理解する(90分) 復習：前期の復習をし、課題を明確にする(90分)
第2回	介護福祉士をとりまく状況（介護問題の背景と介護福祉士制度）	【生活の理解】 【生活者の理解】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第3回	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	【介護福祉士の専門性】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第4回	社会福祉士および介護福祉士法について①	【資格の法的根拠】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第5回	社会福祉士および介護福祉士法について②	【関連制度】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第6回	高齢者の生活①	【生活習慣】 【生活歴】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第7回	高齢者の生活②	【家族介護】 【社会参加】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第8回	高齢者の生活③	【事例検討】 【グループワーク】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第9回	障害のある人の生活①	【障害のある人の理解】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる

		【障害関連の法律・制度】	(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第10回	障害のある人の生活②	【障害のある人の生活】 【障害のある人とのかかわり】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第11回	介護保険制度における介護サービスの概要①	【訪問系介護サービス】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第12回	介護保険制度における介護サービスの概要②	【通所系サービス】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第13回	介護保険制度における介護サービスの概要③	【入所系サービス】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第14回	障害者総合支援法①	【サービスの利用と概要】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第15回	障害者総合支援法②	【地域社会と障害】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第16回	中間まとめ	【振り返りと中間まとめ】	予習：これまでの学習を振り返り、まとめる(90分) 復習：授業内容の振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第17回	介護実践における連携 多職種との連携①	【チームアプローチ】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第18回	介護実践における連携 多職種との連携②	【協働・連携】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第19回	介護実践における連携 地域との連携①	【地域包括支援センター】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第20回	介護実践における連携 地域との連携②	【インフォーマルサービスとの連携】 【市町村・都道府県との連携】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第21回	介護における安全の確保①	【尊厳の確保】 【安全の考え方】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第22回	介護における安全の確保②	【介護ストレス】 【心の健康管理】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第23回	介護における安全の確保③	【信頼関係】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第24回	リスクマネジメント①	【リスクマネジメントの視点】 【リスク回避と尊厳の保持】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第25回	リスクマネジメント②	【事故防止】 【安全生活を守る仕組み】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)

第26回	介護者の健康管理①	【心身の健康管理の意義と目的】 【感染症対策】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第27回	介護者の健康管理①	【安心して働ける環境】 【グループワーク】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第28回	介護福祉士を目指すということ①（外部講師予定：卒業生）	【専門職倫理・職業倫理】 【介護を取り巻く状況の変化】 【専門職業人としての自覚】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第29回	介護福祉士を目指すということ②（外部講師予定：卒業生）	【生活】【人生】【過去・現在・未来】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第30回	振り返り	【振り返りとまとめ】	予習：これまでの講義を振り返り、課題をまとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
テキスト	[題] 『介護の基本Ⅱ』 [著] 西村洋子・本名靖・綿祐二・柴田範子編 [出] 建帛社出版		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(50%) 中間まとめ…(30%) 平常点…(10%) その他(レポート)…(10%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	レポート課題等は適宜連絡する。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある（講義内にて連絡する）。		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護の基本Ⅲ
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①卒業時共通試験において70%取得できる。 ②介護福祉士国家試験に対応する学力を身につけることができる。
授業概要	卒業試験出題範囲に関する問題を（ワークブック、模擬問題など）を解き、解説を行う。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【講義の概要説明】 【自己紹介など】	予習：シラバスの理解および課題の整理（90分）
第2回	障害の理解	【身体障害】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第3回	障害の理解	【精神障害】 【知的障害】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第4回	障害の理解	【知的障害】 【発達障害】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第5回	こころとからだのしくみ	【こころのしくみの理解】 【マズロー】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第6回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第7回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第8回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第9回	生活支援とこころとからだのしくみ	【生活支援技術】 【こころとからだのしくみ】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第10回	生活支援とこころとからだのしくみ	【生活支援技術】 【こころとからだのしくみ】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第11回	発達と老化の理解	【人間の成長と発達】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第12回	発達と老化の理解	【老年期の発達と成熟】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）
第13回	発達と老化の理解	【老化にもなうこころとからだの変化】	予習：参考書および模擬問題を解く（90分） 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる（90分）

第14回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)
第15回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)
第16回	認知症の理解	【認知症の基礎】 【認知症を取り巻く状況】 【認知症の症状】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第17回	認知症の理解	【認知症にともなうこととからだの変化】 【連携と協働】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第18回	介護の基本	【介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ】 【介護従事者の倫理】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第19回	介護の基本	【尊厳を支える介護】 【自立に向けた介護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第20回	生活支援技術	【移動・食事・排泄・入浴・居住環境】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第21回	生活支援技術	【移動・食事・排泄・入浴・居住環境】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第22回	介護保険法	【介護保険制度の基礎的理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第23回	介護保険法	【介護サービス】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第24回	障害者総合支援法	【障害者支援の仕組みの基礎的理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第25回	障害者総合支援法	【障害福祉サービス】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第26回	社会保障の仕組み	【社会保障制度の基礎的理解】 【保険・年金】 【生活保護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第27回	社会保障の仕組み	【社会保障制度の基礎的理解】 【保険・年金】 【生活保護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第28回	総合問題対策	【事例問題】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第29回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分) 復習：振り返りシート作成(90分)
第30回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分) 復習：振り返りシート作成(90分)

テキスト	<p>【題】『新・介護福祉士養成講座2 社会と制度の理解 第3版』 【出】中央法規</p> <p>【題】『見て覚える！介護福祉士国試ナビ 2018』 【出】中央法規</p> <p>【題】『介護福祉士国試完全予想模試 18年版』 【出】成美堂</p>
参考書・参考資料等	<p>【題】『介護福祉士国家試験模擬問題集2018』 【出】中央法規</p> <p>【題】『介護福祉士国家試験受験ワークブック2018(上)』 【出】中央法規</p>
上記到達目標の評価の方法	平常点(授業内ミニテストなど)…(100%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある。

## シラバス参照

講義名	コミュニケーション技術
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	介護における基本的なコミュニケーション技術の理論について説明できる。
授業概要	介護における基本的なコミュニケーション技術を学ぶとともに、必要な自己理解、他者理解についての学習を中心に行う。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【講義の進め方】	予習：シラバス読み授業概要を理解する。(50分) 復習：ノートの再読(90分)
第2回	介護におけるコミュニケーションの基本	【コミュニケーションとは】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第3回	コミュニケーションの意義、役割	【自己理解、他者理解】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第4回	利用者の理解	【利用者理解】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第5回	家族の理解	【家族理解】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第6回	利用者とのコミュニケーション①	【利用者との関わりの基本】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第7回	利用者とのコミュニケーション②	【利用者との関わりの基本】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第8回	家族とのコミュニケーション	【家族との関わりの基本】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第9回	傾聴の基本	【聴き方】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第10回	伝え方の基本	【伝え方】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第11回	チームのコミュニケーション①（目的、方法）	【目的、方法】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第12回	チームのコミュニケーション②（報告、連絡、相談）	【連絡、報告、相談】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第13回	チームのコミュニケーション③（会議、記録）	【ケアカンファレンス、記録の意義】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第14回	相談援助のあり方	【相談援助職】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える、ノートの整理(120分)

第15回	まとめ	【振り返り】	予習：ノートの再読(100分) 復習：振り返り(90分)
テキスト	適宜、プリント、資料を配布		
参考書・参考資料等	必要に応じ、紹介		
上記到達目標の評価の方法	小テスト…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	コミュニケーション技術演習
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を活用し実践できる。
授業概要	現場で必要となるコミュニケーション技術の基礎について体験的に学習を行う。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【本授業の説明】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。（45分） 復習：ノートの再読（90分）
第2回	コミュニケーション技術の基本①	【自己理解、他者理解】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第3回	コミュニケーション技術の基本②	【ライフストーリー】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第4回	コミュニケーション技術の基本③	【ジェノグラム】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第5回	コミュニケーション技術の基本④	【エコマップ】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第6回	コミュニケーション技術の応用①	【実習における振り返り】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第7回	コミュニケーション技術の応用②	【話を聴く態度】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第8回	コミュニケーション技術の応用③	【話を聴く態度】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第9回	コミュニケーション技術の応用④	【話を聴く態度】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第10回	総合的なコミュニケーション①	【話を聴く態度】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第11回	総合的なコミュニケーション②	【傾聴】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第12回	総合的なコミュニケーション③	【傾聴】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第13回	観察と記録	【記録の練習】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第14回	観察と記録	【記録の練習】	予習：ノートの再読（90分） 復習：学びの実践（90分）
第15回	まとめ	【全体の振り返り】	予習：ノートの再読（90分）

テキスト	適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、紹介
上記到達目標の評価の方法	レポート…(70%) 平常点…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生活支援技術概論 A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 丸山 俊明	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	内丸 もと子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①日常生活を構成する上で基本となる家庭生活の基礎的な事柄について説明できる。 ②衣生活について基礎的な知識を習得し、居宅介護における問題点を見つけ改善策を提案できる。 ③居宅介護における要介護者の住生活で起こりがちな問題を理解し、解決に導くための改善策を提案できる。 ④日常生活を科学的に見直し、常に住環境の改善への意欲を継続できる。
授業概要	介護の基礎となる家庭生活とそこで営まれる「衣・住」に関する基礎的な知識の習得を図る。 ①家庭生活の特質や、変動する社会における家族機能や家庭管理のあり方について学習する。 ②被服の役割、素材、管理方法を理解する。 ③住環境の特性を理解し、快適で過ごしやすい住居を実現する方法を理解する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	【家】家庭生活の特性や、変動する社会・家庭生活における家族機能としての高齢者への対応などの現状や問題について考える。	【家庭】【家族】【高齢者】	予習：テキストp194～197を読み要点をまとめる。まとめた要点は提出する（2～8回とも同様）（90分） 資料も調べること 復習：ワークシート作成（90分）
第2回	【家】高齢社会の現状と課題 家族・健康、経済生活、生きがいなどを考える。	【少子化】【高齢化】【超高齢社会】	予習：テキストp198～201を読み要点まとめ（90分） 資料も調べること 復習：ワークシート作成（90分）
第3回	【家】家庭経済 高齢者・障害者の経済生活について知る。 現代社会における消費者と消費者問題について考える。	【家計】【消費生活】【消費者問題】	予習：テキストp201～204を読み要点まとめ（90分）新聞などから関連する記事を読み貼付（60） 復習：ワークシート作成（90分）
第4回	【衣】被服の役割と機能 多様な被服の役割を考える	【保健衛生的機能】【社会的機能】【自己表現】 【皮膚障害】	予習：テキストp246～248、269～271を読む要点まとめ（90分） 復習：ワークシート作成（90分）
第5回	【衣】被服の素材 衣服材料の種類や特徴を知る	【繊維】【糸】【織物】 【編物】【性能改善】【加工法】 【繊維リサイクル】	予習：テキストp251、253～256、p249を読む要点まとめ（90分） 復習：ワークシート作成（90分）
第6回	【衣】被服の選択と購入、被服計画 被服選択・購入時において種々の表示を活用する。	【サイズ表示】【素材表示】 【取扱い絵表示】	予習：テキストp250～252を読む要点まとめ（90分） 市場調査（60分） 復習：ワークシート作成（90分）
第7回	【衣】被服の管理 洗濯、洗剤の種類と正しい使い方について理解する。	【界面活性剤、配合剤、漂白剤】	予習：テキストp256～263を読む要点まとめ（90分） 市場調査（60分） 復習：ワークシート作成（90分）
第8回	【衣】高齢者・障害者の被服 高齢者・障害者の身体的・心理的な特徴をふまえて、着心地の良い被服を考える	【ユニバーサルファッション】 【健康】【安全】【快適】	予習：テキストp271～276を読む要点まとめ（90分） 復習：ワークシート作成（90分）
第9回	【住】住環境①：住宅の平面	【住環境】【平面】	復習：平面表現を理解する（60分）

第10回	【住】住環境②：日照と通風	【窓】【扉】	予習：開口部をさがす（60分） 復習：開口部と通風のながれを理解する（60分）
第11回	【住】住環境③：高さと階段	【住宅】【断面】	予習：階段をスケッチする（60分） 復習：断面表現を理解する（60分）
第12回	【住】住環境④：バリアフリーとスロープ、駐車場	【バリアフリー】	予習：バリアフリーをしらべる（60分） 復習：スロープをスケッチする（60分）
第13回	【住】住環境⑤：2世帯住宅	【住宅計画】	予習：2世帯住宅をしらべる（60分） 復習：2世帯住宅の問題点を考える（60分）
第14回	【住】住環境⑥：高齢者・障害のある人のための計画	【高齢者】【障害】	予習：高齢者・障害のある人のためになる計画を考える（60分） 復習：住環境の問題をまとめる（60分）
第15回	まとめ 住環境の問題	【自立に向けた居住環境の整備】	予習：すべての人にむけた住環境を考える（60分） 復習：住環境に関する自分の考えをまとめる（60分）
第16回			
テキスト	[題] 『新介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ』 [出] 中央法規出版 教材プリント		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点…(30%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	各分野ごとの成績が100点中60点以上を合格とする。 衣分野・・・内丸 もと子（1～8回） 住分野・・・丸山 俊明（9～15回）		

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	生活支援技術概論B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 赤田 みゆき	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①食物を栄養素の視点で理解することができる。 ②病気予防につながる生活上の注意を理解することができる。 ③「生活支援」に関わる情報を自発的に探索・説明することができる。
授業概要	食生活を支援するために必要な栄養学の基礎的知識や、食物摂取と関わる病気の予防について解説する。その結果の1つとして、食生活支援に関わる情報に興味・関心を持つ態度を育てる。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	生活における食事の役割	【栄養, 消化, 吸収】	
第2回	食事と栄養（1）：糖質	【代謝, 糖質】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第3回	食事と栄養（2）：蛋白質	【代謝, 蛋白質】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第4回	食事と栄養（3）：脂質	【代謝, 脂質】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第5回	食事と栄養（4）：ビタミン, ミネラル	【酵素, ビタミン, ミネラル】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第6回	調理の科学（1）：「切る」, 「刻む」, 「つぶす」, 「すりおろす」, 「和える」, …	【消化, 酸化】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第7回	調理の科学（2）：「煮る」, 「蒸す」, 「揚げる」, 「炒める」, 「焼く」, …	【熱変性, 熱分解, 抽出】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第8回	病気と予防（1）：感染症	【細菌, ウイルス】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第9回	病気と予防（2）：食中毒	【腐敗, 発酵】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第10回	病気と予防（3）：循環器疾患	【動脈硬化, 梗塞】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第11回	病気と予防（4）：生活習慣病	【カリ-, アルコール】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第12回	病気と予防（5）：アレルギー疾患	【抗原, 免疫】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第13回	食品と安全	【安全, 基準】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第14回	事例調査（1）		復習：レポート作成(90分)

第15回 事例調査 (2)	復習：レポート作成 (90分)
テキスト	[題] 『新介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I』 [出] 中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	授業中レポート…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生活支援技術演習 A
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	北川 享子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	酒井 美菜子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①生活支援に資する介護を、他の職種と連携し適切に実施できる ②介護技術を用いて、安全に安楽に援助できる技術や知識を習得する ③利用者が主体的に生活できるような、個別ケアが理解できる
授業概要	どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション、生活理解	【生活支援とは】	予習：テキストP2～12を読み理解する(90分)
第2回	ICFの考え方とアセスメントの意味	【自立支援に立った身体介護】	予習：高齢者の身体的特徴を調べる(90分)
第3回	ICFの考え方とアセスメントの意味	【ICFの意味】	復習：テキストP14～42を読み理解する(90分)
第4回	ボディメカニクス・移動・移乗の意義と目的	【ボディメカニクスの理解】	4～7 予習：テキストP1～22まで(90分)
第5回	体位変換の方法 ① 起居動作	【ボディメカニクス】	演習課題1～4レポート提出(90分)
第6回	体位変換の方法 ② 起居動作	【ボディメカニクス】	復習：起居動作の練習(90分)
第7回	体位変換の方法 ③ 安楽な体位	【ボディメカニクス】	復習：安楽な体位の練習(90分)
第8回	身支度の支援 ① 生活環境とアセスメント	【生活環境とアセスメント】	復習：介護過程のアセスメントを理解する(90分)
第9回	身支度の支援 ② ベッドメイキングの方法 洗面・整容	【自立した身支度の方法】	予習：テキストP22～27読む(30分)
第10回	身支度の支援 ③ 衣服の着脱方法	【身支度の意義と目的】	予習：テキストP22～27読む(60分)
第11回	身支度の支援 ④ 衣服の着脱方法	【自立生活を支える】	復習：身支度における演習の振り返り(30分)
第12回	身支度の支援 ⑤ 衣服の着脱方法	【自立生活を支える身支度の介護】	復習：身支度における演習の振り返り(30分)
第13回	移動・移乗の介助 ①	【移動・移乗におけるアセスメント】	復習：移動・移乗の介助方法の練習(30分)
第14回	移動・移乗の介助 ②	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助方法の練習(30分)
第15回	移動・移乗の介助 ③	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助方法の練習(90分)

第16回	移動・移乗の介助 ④	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助 方法の練習(90分)
第17回	歩行介助の方法	【杖歩行・白杖】	予習：P 159～164 (90分)
第18回	ベッドメイキングの方法 ①	【ベッドメイキングの方法】	復習：ベッドメイキングの練習(30分)
第19回	ベッドメイキングの方法 ②	【ベッドメイキングの方法】	復習：ベッドメイキングの練習(30分)
第20回	ベッドメイキングの方法 ③	【ベッドメイキングの方法】	復習：生活環境における演習の振り返り(30分)
第21回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ①	【衣服の着脱とシーツ交換】	復習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(30分)
第22回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ②	【衣服の着脱とシーツ交換】	復習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(30分)
第23回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ③	【衣服の着脱とシーツ交換】	予習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(90分)
第24回	感染症の予防方法	【感染症】	予習：感染症についてのレポート作成(120分)
第25回	入浴介助の意義と目的	【入浴介助】	予習：テキストP 222～247まで読む(30分)
第26回	入浴介助の方法 ①	【入浴介助】	予習：テキストP 176～184まで読む(30分)
第27回	入浴介助の方法 ②	【入浴介助】	予習：テキストP 222～255まで読む(90分)
第28回	入浴介助の方法 ③	【入浴介助】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第29回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助演習 男子	【部分浴の介助】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第30回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助演習 女子	【清潔保持の介助とまとめ】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)

テキスト	[題] 『生活支援技術 I・II』 [出] 中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 課題レポート…(10%) 平常点…(40%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生活支援技術演習B
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	北川 享子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	酒井 美菜子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①生活支援に資する介護を、他の職種と連携し適切に実施できる ②介護技術を用いて、安全に安楽に援助できる技術や知識を習得する ③利用者が主体的に生活できるような、個別ケアが理解できる
授業概要	どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	福祉用具の活用	【福祉用具】	予習：介護保険・福祉用具についてレポート(120分)
第2回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ①	【福祉用具】	復習：福祉用具の使用方法を学ぶ(90分)
第3回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ②	【自立した移動・移乗】	復習：移動・移乗の介助方法の練習(90分)
第4回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ③	【移動・移乗のまとめ】	復習：移動・移乗の介助の振り返り(90分)
第5回	自立に向けた排泄の介護① 講義	【排泄の意義と目的】	予習：テキストP270～326読む(90分)
第6回	自立に向けた排泄の介護② 演習	【自立を支える排泄介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第7回	自立に向けた排泄の介護③ 演習	【排泄におけるアセスメント】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第8回	自立に向けた排泄の介護④ 演習	【排泄介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第9回	自立に向けた排泄の介護⑤ 演習	【尿器・差し込み便器を使った介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第10回	自立に向けた排泄の介護⑥ 演習	【頻尿・尿失禁・便秘・下痢・便失禁への対応】復習：	排泄介助の振り返り(60分)
第11回	自立に向けた排泄の介護⑦ 演習	【その他の排泄に関する様々な介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第12回	自立に向けた排泄の介護⑧ 演習	【排泄介助のまとめ】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第13回	自立に向けた排泄の介護⑨ 演習	【排泄介助のまとめ】	復習：排泄介助の振り返り(90分)

	習		
第14回	家事介護の基本 ①	【家事介護の基本的視点】	予習：テキストP182～203を読む(90分)
第15回	家事介護の基本 ②	【家事介護の基本的視点】	予習：テキストP274～333を読む(90分)
第16回	調理実習 ①	【調理実習】	予習：献立を考える(120分)
第17回	調理実習 ②	【調理実習】	復習：調理実習のレポート作成(120分)
第18回	食事介助の方法 ①	【食事介助】	予習：テキストP188～213まで読む(120分)
第19回	食事介助の方法 ②	【食事介助】	予習：食事介助チェックリスト作成(60分)
第20回	食事介助の方法 ③	【復習とまとめ】	復習：食事介助のチェックリスト作成(120分)
第21回	医療との連携方法	【多職種連携】	予習：テキストP346～352を読む(60分)
第22回	終末期のケア	【ターミナルケア】	復習：テキスト366～399まで読む(60分)
第23回	バイタルチェックの方法 ①	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(120分)
第24回	バイタルチェックの方法 ②	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(90分)
第25回	バイタルチェックの方法 ③	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(90分)
第26回	バイタルチェックの方法 ④	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(120分)
第27回	睡眠の意義と目的	【睡眠の介護】	予習：テキストP334～359を読む(120分)
第28回	後期のまとめ	【まとめ】	復習：苦手な生活支援技術を練習(60分)
第29回	福祉用具センター見学 演習	【学外授業】	復習：見学後レポート作成(90分)
第30回	福祉用具センター見学 演習	【学外授業】	

テキスト	[題] 『生活支援技術Ⅰ・Ⅱ』 [出] 中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(40%) 課題レポート…(30%) 平常点…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	生活支援技術演習A
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	テキストは、「生活支援技術演習A」で使用したテキストと同じものです。

## シラバス参照

講義名	生活支援技術演習C
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	介護を必要とする様々な利用者の特性を理解し、介護の視点や支援の在り方について具体的に理解できる
授業概要	介護を必要とする利用者は、様々な状態・状況で圧という事を学ぶ また、介護の原則は個別ケアであり、生き方や価値観、生活の仕方もそれぞれに違う 利用者の疾病や障害によって起こる生活の不自由さをどのように支援することが出来るのかを学ぶ

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 障害を持つ人への支援	【障害の種類】	予習：テキストを読むp2～6 (90分)
第2回	障害に応じた生活支援技術 ① 視覚障害	【視覚障害】 【白杖】	予習：演習課題2-1・2-2・2-3 (90分)
第3回	障害に応じた生活支援技術 ② 聴覚障害・言語障害	【視覚障害】 【コミュニケーション】	復習：演習課題2-4・2-5(90分)
第4回	障害に応じた生活支援技術 ③ 重複障害 盲ろう	【盲ろう】	予習：テキストp.48～59を読み理解する (90分)
第5回	障害に応じた生活支援技術 ④ 知的障害	【知的障害】 【生活の理解】	予習：知的障害について調べる(90分)
第6回	障害に応じた生活支援技術 ⑤ 精神障害	【総合失調症】 【気分障害】	予習：演習課題3-3・3-4 (90分)
第7回	障害に応じた生活支援技術 ⑥ 高次脳機能障害	【高次脳機能】 【失語症】	予習：高次機能障害について調べる(90分)
第8回	障害に応じた生活支援技術 ⑦ 発達障害	【アスペルガー症候群】 【ADHD】 【LD】	予習：発達障害について調べる(90分)
第9回	障害に応じた生活支援技術 ⑧ 発達障害	【パニック症候群】	復習：演習課題3-7・3-8 (90分)
第10回	障害に応じた生活支援技術 ⑨ 重症心身障害	【重症心身障害】	予習：テキストを読んでくるp.214～221 (90分)
第11回	障害に応じた生活支援技術 ⑩ 認知症	【特別養護老人ホーム】 【小規模多機能施設】 【グループホーム】	復習：演習課題4-3・4-4 (90分)
第12回	障害別レクリエーション ① 知的障害を持つ人へのレクリエーションの企画	【知的障害】 【レクリエーション】	復習：レクリエーションの企画を立てる(90分)
第13回	4. 障害に応じた生活支援技術 ① 知的障害 障害に応じたレクリエーション	【知的障害】	予習：レクリエーションの企画を立てる(90分)
第14回	障害に応じた生活支援技術 ② レクリエー	【コミュニケーション】	予習：レクリエーションの企画を立

	シヨンの企画		て、練習(90分)
第15回	障害に応じた生活支援技術 ③ レクリエーションの発表	【知的障害】 【レクリエーション】	予習：レクリエーションの発表(90分)
第16回	5. 障害に応じた生活支援技術 ① 精神障害	【精神障害】	予習：テキストp161～172を読み理解する (90分)
第17回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【統合失調症】	予習：疾患の内容を調べる (90分)
第18回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【特性】 【社会参加】	予習：演習3-3・3-4 (90分) 復習： (90分)
第19回	6. 障害に応じた生活支援技術 ① 高次脳機能障害	【高次脳機能障害】 【失語】	予習：テキストp176～190を読み理解する (90分)
第20回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【失語】 【失認】 【失行】	予習：p182の事例を読む (90分)
第21回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【生活環境】 【生活リズム】	予習：演習3-5・3-6 (90分)
第22回	7. 障害に応じた生活支援技術 ① 発達障害	【アスペルガー症候群】 【ADHD】 【LD】	予習：テキストp194～208を読み理解する (90分)
第23回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【発達障害の特性】	予習：広汎性発達障害について調べる (90分)
第24回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【生活支援】 【自閉症スペクトラム】	予習：演習3-7・3-8 (90分)
第25回	8. 障害に応じた生活支援技術 ① 重症心身障害	【重症心身障害】	予習：重症心身障害について調べる (90分)
第26回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【強度行動障害】 【自閉症】	予習：重症心身障害について調べる (90分)
第27回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援技術と環境整備	【生活環境】	予習：演習3-9・3-10 (90分) 復習： (90分)
第28回	9. 障害に応じた生活支援技術 ① 認知症	【認知症】	予習：認知症について調べる (90分)
第29回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【特別養護老人ホーム】 【老人保健施設】 【グループホーム】	予習：生活の場について調べる (90分)
第30回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援技術と環境整備	【小規模多機能型】 【訪問介護】 【在宅・施設】	予習： 演習4-1・4-2 (90分)

テキスト	[題]『生活支援技術Ⅲ』 [出]中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	認知症の理解・障害の理解
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

## シラバス参照

講義名	生活支援技術演習D
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 赤田 みゆき	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
非常勤講師	西川 実佐子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	内丸 もと子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>【衣】家事支援の個性・多様性を理解し、高齢者・障害者の衣生活についての知識・技術が現場で応用実践できる。</p> <p>【食】栄養の基礎知識を理解し高齢者、障害者に適した食事管理が実践できる。</p> <p>【住】高齢者や障がいのある人にとって、より好ましい住まいのあり方について総合的に判断できる。</p>
授業概要	<p>【衣】高齢者や障害者の家庭生活と課題を考える。健康・安全・快適性の観点から衣生活に必要な知識・技術を実習をとおして学ぶ。</p> <p>【食】「食ること」の意義を十分理解し、高齢者や障害者の身体機能の変化に即した栄養・食生活のあり方や衛生管理等について講義・実習・演習を行う。</p> <p>【住】住まいに求められるさまざまな要件を整理し、高齢者や障害のある人の特性を踏まえた住まいとは何かについて学ぶ。</p>

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	(家) 家庭生活の理解 高齢者の時間の使い方を考える。	【高齢者と生活時間】	復習：自分の生活時間と比較、レポート作成(60分)
第2回	(家) 家庭生活の経営 高齢者のくらしを家族・経済などの観点から考える。	【高齢社会と経済】	復習：レポート作成(60分)
第3回	(衣) 衣服の役割を理解する。また、高齢者にとって心地よい衣服を考察する。	【衣生活】	復習：レポート作成(60分)
第4回	(衣) 手縫いの基礎：花ふきんの製作	【手縫いの基礎】	予習：花ふきんの刺し子の図案を考えてくる。(45分) 持参：裁縫用具(はさみ、糸、縫い糸)・白の晒し布(約1m) 復習：花ふきんの製作。(120分)
第5回	(衣) 被服の管理Ⅰ 洗濯	【被服の洗濯】	復習：レポート作成(60分)
第6回	(衣) 手縫いの基礎：花ふきんの製作及び製作した花ふきんをパッケージングする。	【手縫いの基礎】 【パッケージング】	復習：パッケージングを完成させる。(60分)
第7回	(衣) 被服の管理Ⅱ 保管	【被服の保管】	復習：レポート作成(60分)
第8回	(衣) 小物の製作：リハビリグッズの製作 お手玉	【お手玉】	予習：必要なものの準備。 持参：端切れ2種類・詰め物・裁縫道具 復習：作品を完成させる。(60分)
第9回	(衣) 小物の製作：リハビリに役立つ物作り ゆび編み	【ゆび編み】	予習：時間内にできるゆび編み小物を考えてくる。

			必要なものの準備。 持参：極太～並太毛糸・はさみ等
第10回	(衣) 小物の製作及びパッケージング 物作りを通して、高齢者の生きがいについて考える。	【ゆび編み】【高齢者の生きがい】	持参：極太～並太毛糸・はさみ等
第11回	(食) 栄養の基礎知識とバランス食とは何かを認識し、 高齢者・障害者の食生活の現状と問題点を知り、 正しい栄養・ 食事の在り方、留意点について考察する。	【栄養の基礎知識】	復習：レポート作成(60分)
第12回	(食) 「日本人の食事摂取基準」・「メタボリック クシンドローム」に ついて理解し、食生活の評価法を習得する。 「BMI指数」の算定と その判定区分法を行い、自らの食生活を課題に評価する。	【栄養状態の評価法】	復習：レポート作成(60分)
第13回	(食) 「食事バランスガイド」に基づくバランス 食の実際 (高齢者のための日常食について)	【食事バランスガイドの概要】	復習：レポート作成(60分)
第14回	(食) 高齢者・障害者の低栄養予防対策について 一低栄養予防、 改善のための栄養・食事ケアと栄養確保のための 具体策を考察する。ー	【低栄養の意味と改善策】	復習：レポート作成(60分)
第15回	(食) 生活習慣病予防・改善のための食事の実際 (食塩制限のための調理上の工夫について)	【生活習慣病予防の食事】	復習：レポート作成(60分)
第16回	(食) 衛生管理(施設・食品等)について・・・ 食器具類の汚染度測定の実際を通して、食中毒予 防等衛生 管理の重要性を認識する。	【食に関する衛生管理の実際】	復習：レポート作成(60分)
第17回	(食) 嚥下・そしゃく等口腔障害のある場合の調 理形態に ついての実際(調理上の工夫やその種類について)	【口腔障害に対応する調理形態】	復習：レポート作成(60分)
第18回	(食) 糖尿病食事療法のための「食品交換表」の 正しい見方、 使い方を習得する。食品交換表を用い、実際の献 立について 食品分類・単位計算等を行い、食内容の問題点を 検索する。	【食品交換表の概要】	復習：レポート作成(60分)
第19回	(食) 食事体験を通して食べ方、食べさせ方、調 理上の工夫、 食器具類の選び方など検索する。(糖尿病予防・ 治療のためのバランス食について)	【糖尿病に対応する食事】	復習：レポート作成(60分)
第20回	(食) 給食と食事援助、栄養食指導等について 各分野での 役割について学習する。	【栄養に関連する仕事と役割】	復習：レポート作成(60分)
第21回	(住) 住まいを規定する寸法や空間把握について 実体験し、検証する。	【ヒューマンスケール】【寸法基準】【使 いやすさ】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第22回	(住) 快適な住環境のための、温度・湿度の条件 について考察する。	【体感温度】【冷房・暖房】【通 風】【断熱】【遮蔽】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第23回	(住) 住環境に必要な光の取り入れ方について、 照度を測定し、 望ましいあり方を検証する。	【明るさ】【照明】【照度】 【照度計】【Lx】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第24回	(住) 音の発生や伝わり方、大きさ、高さなど、 快適な音環境に ついて学び、具体的に騒音計での実測を行う。	【騒音】【伝播音】【遮音・吸 音】【騒音計】【デシベル】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第25回	(住) 車椅子での移動について建物との関連性に 注目し、 実体験の中から問題点を抽出する。	【必要な空間】【移動方法】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第26回	(住) バリアフリー・ユニバーサルデザインの考 え方をもとに、 建物を検証する。	【バリアフリー法】【円滑化基準】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第27回	(住) 高齢者や障がいのある人に視点をのいたり フォームに ついて考察する。	【効果】【個別の条件】【相 談】	復習：配布資料とともに授業内容の振り 返し(45分)
第28回	(住) 住環境の総合的観点から、住まいのあり方 について整理する。	【建築的な配慮】	課題：授業時間中に提示する内容で ミニレポート作成(180分)

第29回	(住) 高齢者のための住まいについて、条件にあったプランを作成する。	【生活様式】【ライフスタイル】【条件の整理】	予習：高齢者の住まいについて配慮すべき点を整理しておく(105分)
第30回	(住) (つづき)		予習：高齢者の住まいについて配慮すべき点を整理しておく(105分)
テキスト	[題] 『新介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I』 [出] 中央法規出版		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	(衣) レポート…(10%) 課題…(10%) 平常点…(13%) (食) レポート…(17%) 平常点…(17%) (住) レポート…(22%) 平常点…(11%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	【衣】裁縫道具を各自で準備すること。材料代500円程度 【食】実習費用(食材費)(約2,000円)		
その他特記事項	三分野の総合評価です。【衣】【食】【住】各分野で6割以上の点数を獲得することが単位修得の条件です。		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護過程 I
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	① 介護過程の意義と目的が理解できる ② ICFの基本理念が理解できる ③ ニーズの把握と情報収集・アセスメントが理解できる
授業概要	他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程を展開できる能力を養う 介護過程 I では、「介護過程の意義と目的」「介護における目標・ICFの基本理念」「ニーズの把握と上表収集・アセスメント」等を学習し、介護者としての判断力を養い、自立に向けた介護過程の展開を学習する

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション・介護過程とは	【介護過程】	予習：_____ (90分) 復習：_____ (90分)
第2回	生活支援の考え方と介護過程の必要性 ①	【個別ケア】【生活支援】	予習：個々の暮らしについて考える (90分)
第3回	生活支援の考え方と介護過程の必要性 ②	【個別ケア】【生活支援】【介護過程での気づき】	予習：テキスト p 5 から 7 を読んでくる (90分)
第4回	介護過程の意義と目的	【利用者の実像に近づく】	予習：P 8 ~ 9 ワークシート記入 (90分)
第5回	対象者の理解 ① 認知症	【認知症】	復習：認知症の理解のテキストを読んでくる (90分)
第6回	対象者の理解 ② 障害者	【障害の理解】	予習：障害の理解のテキストを読む (90分)
第7回	対象者の理解 ③ 高齢者	【高齢者】	予習：高齢者の生活を調べる (90分)
第8回	中間まとめ	【まとめ】	復習：テキスト P 2 0 を読み p 2 3 を記入 (90分)
第9回	介護過程の理解・全体像	【ICF】【介護過程の展開方法】	予習：p 36 のシートを記入し、p 39 を読む (90分)
第10回	アセスメントについて	【アセスメント】	予習：テキスト P 4 0 ~ 51 を読む (90分)
第11回	情報の収集	【何を情報収集するのか】	予習：課題レポートの作成 (90分)
第12回	情報の解釈・関連付け・統合	【情報の分析】【情報の解釈】【情報の統合】	予習：課題レポートの作成 (90分) 復習：事例を使ったレポート作成
第13回	課題の明確化	【課題の抽出】	復習：事例を使いレポート作成 (90分)
第14回	春学期のまとめ	【アセスメント】【事例の展開】	復習：事例を使いレポート作成 (90分)

第15回	春学期のまとめ	【振り返り】	復習：アセスメントについてのレポート作成 (90分)
テキスト	[題]介護福祉教育研究会「楽しく学ぶ介護過程」 [出]久美出版  [題]『介護過程』 [出]中央法規出版		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護過程Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	① 介護過程の意義と目的が理解できる ② ICFの基本概念が理解できる ③ 利用者のニーズの把握と情報収集・アセスメントが理解できる ④ 利用者のニーズに合った個別介護計画の立案・実施・修正・評価ができる
授業概要	他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程を展開し、適切なサービスの提供が出来る能力を養う。 介護の基本的知識の理解と基本低技術の習得に努め利用者の立場、自己支援の視点に立って介護過程の展開を学ぶ。 介護過程Ⅱでは、介護過程の実践的展開を学び、「生活支援の課題・目標の捉え方」「自立に向けた介護過程の展開の実際」「利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開の実際」を学び、個別介護計画の立案・介護サービスの実施・個別介護計画の修正・評価を、事例を交え学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	情報収集の意義と方法	【情報収集の方法】	復習：アセスメント方法について振り返る(90分)
第2回	情報の分析・課題の明確化	【情報分析の方法】	予習：テキストP2～9読んでくる(90分)
第3回	介護計画の立案 介護計画とは	【介護計画の立案方法】	予習：テキストp13の演習課題の記入(90分)
第4回	目標の設定	【長期目標】 【短期目標】	予習：テキストP48～54を読んでくる(90分)
第5回	支援の内容・支援方法の決定	【具体的な介護内容】	予習：テキストp55表2-11・p56表2-12の理解(90分)
第6回	介護計画実施のための準備	【アセスメント】 【介護内容】	予習：テキストp58～60の個別介護計画書を理解する(90分)
第7回	個別介護計画実施時の留意点	【利用者の望む生活】	予習：テキストp65～66の留意点を理解する(90分)
第8回	個別介護計画実施状況の把握	【介護の方向性】	復習：アセスメントから計画の立案の理解(90分)
第9回	記録の意義	【事実と考察】	復習：事例からレポート作成(90分)
第10回	記録について	【記録の書き方】	復習：事例からレポート作成(90分)
第11回	評価の目的	【評価の必要性】	予習：テキスト73～81を読む(90分)
第12回	評価の内容と方法	【評価のポイント】	予習：P82～83の個別介護計画書を評価する(90分)
第13回	個別介護計画の修正	【計画の見直し】	予習：P82～83の個別介護計画を評価する(90分)
第14回	再アセスメントと計画の修正	【目標が達成されなかった原因や	予習：P82～83の個別介護計画を評価する(90分)

		理由】	
第15回	カンファレンスの意義と目的	【カンファレンス】	
第16回	中間まとめ	【中間まとめ】	
第17回	事例の展開とケアカンファレンス	【事例の展開】	予習：介護過程をどう理解したか、事例の展開とレポート作成(90分)
第18回	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	【利用者の特性】	予習：介護過程をどう理解したか、事例の展開とレポート作成
第19回	アセスメントの実際【事例1】	【在宅生活を望むTさんの事例】	NO19～28まで(事例1～10まで) 予習：事例を読みレポート作成
第20回	アセスメントの実際【事例2】	【Yさんの事例】	
第21回	アセスメントの実際【事例3】	【Eさんの事例】	
第22回	アセスメントの実際【事例4】	【Hさんの事例】	
第23回	アセスメントの実際【事例5】	【Mさんの事例】	
第24回	アセスメントの実際【事例6】	【Oさんの事例】	
第25回	アセスメントの実際【事例7】	【Sさんの事例】	
第26回	アセスメントの実際【事例8】	【Fさんの事例】	
第27回	アセスメントの実際【事例9】	【Kさんの事例】	
第28回	アセスメントの実際【事例10】	【精神障害のある人の在宅生活を支える支援】	
第29回	まとめ	【事例展開】	復習：「事例を展開してみよう」のレポート課題(90分)
第30回	小テスト 振り返り・Ⅱ期実習に向けての留意点	【Ⅱ期実習】【小テスト】	復習：Ⅱ期実習に向けての振り返り(90分)

テキスト	介護過程 中央法規出版 適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	試験…50%) レポート…30%) 平常点…20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

## シラバス参照

講義名	介護過程Ⅲ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護実習Ⅱの体験を踏まえ、利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる。 ②チームアプローチにおける介護福祉士の役割が理解できる。
授業概要	介護実習Ⅱを振り返り、自分自身の課題を明確化する。また、課題に取り組みながら、介護実習Ⅳにおける介護過程の展開に向けて、介護過程の実践的展開について学修する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【介護実習Ⅱの振り返り】 【ストーリーを描く】	
第2回	アセスメントとケアプラン	【介護過程の全体像】 【情報の収集・分析・統合】	予習：前回授業のまとめ(30分) 復習：実際に展開したアセスメントと授業内容を振り返り、まとめる(60分)
第3回	ICFを基盤にした高齢者ケア	【ICF】 【アセスメントの理解】	予習：ICFの復習をし、理解を深める(60分)
第4回	高齢者の特性に応じたアセスメント	【高齢者と障害】 【障害受容】	予習：受容・共感について復習し、理解を深める(60分)
第5回	認知症ケアと介護過程	【中核症状】 【BPSD】	予習：認知症の症状など復習し、理解を深める(60分) 復習：コミュニケーション技術について復習する(60分)
第6回	介護過程の実践的展開 事例検討①	【アセスメント：情報の分析・統合】	予習：情報の収集・分析・統合について復習し、理解を深める(30分)
第7回	介護過程の実践的展開 事例検討②	【アセスメント：情報の分析・統合】	予習：情報の収集・分析・統合について復習し、理解を深める(30分)
第8回	介護過程の実践的展開 事例検討③	【情報の分析と計画の立案】	予習：目標の設定、計画の立案について復習し、理解を深める(30分)
第9回	介護過程の実践的展開 事例検討④	【情報の分析と計画の立案】	予習：目標の設定、計画の立案について復習し、理解を深める(30分)
第10回	中間まとめ	【中間まとめ】	予習：これまでの学習内容を復習し、まとめる(60分)
第11回	ICFに基づく具体的な認知症ケア	【認知症高齢者の生活支援】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第12回	自立支援のケアマネジメント①	【介護過程とケアマネジメント】	予習：ケアマネジメントについて教科書を読み、まとめる(30分)
第13回	自立支援のケアマネジメント②	【個別介護計画とケアプラン】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)

第14回	自立支援のケアマネジメント ③	【専門職としての視点】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第15回	振り返り	【振り返り・まとめ】	予習：これまでの学習内容を振り返り、まとめる(90分)
テキスト	[題] 『介護過程』 [著] 介護福祉士養成講座編集委員会 [出] 中央法規出版		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	最終まとめ…(40%) 中間まとめ…(40%) 平常点…(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	レポート課題等は適宜連絡する。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある（講義内にて連絡する）。		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護過程Ⅳ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①利用者が望む「よりよい生活」、「よりよい人生」を実現するために専門的知識を活用できるよう、介護過程の展開の基本的視点が理解できる。 ②介護福祉士として介護過程の展開に必要な知識・技術・倫理について理解できる。
授業概要	利用者の生活課題の解決と自己実現を目指し、介護過程を展開するために実践した介護過程の展開を振り返る。自分自身の課題に取り組みながら、専門職として、利用者にかかわる関係職種との連携や協働などのチームアプローチを学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	介護実習の振り返り	【ケアプラン】【ICF】 【コミュニケーション技術】	予習：介護実習Ⅳの介護過程の展開における課題の整理(90分)
第2回	利用者の立場に立つために	【利用者との関わり】 【自己覚知】	復習：自分の人間観・人生観について整理する(90分)
第3回	医学モデルと社会モデル	【医学モデルと社会モデルの検討】	予習：医学モデルおよび社会モデルについて調べる(60分)
第4回	介護過程とケアマネジメント①	【介護保険】【ストレングス視点】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(60分)
第5回	介護過程とケアマネジメント②	【エコロジカル視点】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(60分)
第6回	介護過程とチームアプローチ①	【多職種連携】	予習：教科書を読み、理解する(30分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(30分)
第7回	介護過程とチームアプローチ②	【グループワーク】 【支援者としての枠組】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(30分)
第8回	中間まとめ	【レポートまたは筆記】	予習：これまでの授業内容をまとめる(90分) 復習：課題の整理・まとめ(30分)
第9回	事例検討①	【グループワーク】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第10回	事例検討②	【グループワーク】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第11回	事例検討③	【グループワーク】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第12回	介護福祉士とは	【介護福祉士の仕事】 【介護福祉士の専門性】	
第13回	職業倫理	【介護福祉士の現在と未来】	
第14回	介護福祉士としての第一歩	【介護福祉士としての私の課題】	
第15回	振り返りとまとめ	【介護過程の展開】 【専門知識・技術】	予習：これまでの授業の振り返り・まとめ(60分)

テキスト	[題] 『介護過程』 [著] 介護福祉士養成講座編集委員会 [出] 中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(50%) 中間まとめ（レポートまたは筆記）…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	レポート課題等は適宜連絡する。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進捗や内容を変更することもある（講義内にて連絡する）。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護総合演習 I
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	介護実習 I に必要とされる理論・知識・技術等を身につけることができる。
授業概要	高齢者や障害者の日常生活を支えていくため、利用者が自立した生活への希望を持ち、介護福祉の様々な制度やサービスを活用して、利用者を支援し、「個人の尊厳を支えるケア」の確立をめざす。この介護総合演習は介護福祉士として必要な専門知識と技術を実習によって習得できるように学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	介護実習	テキストを読み、これから実習にどのように取り組む必要があるのかを考えてくる。 予習 90分 復習 90分
第2回	介護福祉士の仕事 Ⅱ期実習報告会の説明	介護福祉士倫理綱領	予習：90分 復習 90分 テキスト読み、介護福祉士の仕事について調べる。授業終了後、自分の考える介護福祉像についてレポートする。
第3回	Ⅱ期実習報告会参加		復習：報告会を聞き、①全体的な感想②介護とはどのようなものと認識したか③特に興味をもった報告と発表者④疑問に思ったこと⑤今後の介護実習の授業に対する自らの取り組みについての決意をA41枚以上レポートを作成し、報告会担当教員に提出する。(180分)
第4回	施設見学の概要① 特別養護老人ホーム 介護老人保健施設	介護保険・施設サービス・居宅サービス	予習：(90分)介護保険法について、居宅サービスや施設サービスなどについて調べて、レポート作成する。 復習：90分)自分の市町村における介護サービスについて調べレポート提出。
第5回	施設見学の概要② 救護施設 重症心身障害者施設・ 障害者支援施設	生活保護法・障害者総合支援法	予習：(120分) 生活保護法や障害者総合支援法について調べ、レポート作成する。
第6回	施設見学の事前学習①	学生によるグループ活動	予習 90分：見学施設について調べ、質問内容や見学内容について調べる。 復習 90分：グループワークした内容を深め、質問内容や特に学びたい内容を絞る。
第7回	施設見学の事前学習②	学生によるグループ活動	予習 90分：見学施設について調べ、質問内容や見学内容について調べる。 復習 60分：グループワークした内容を深め、質問内容や特に学びたい内容を絞る。
第8回	施設見学	特別養護老人ホーム	予習 90分 復習 90分

		ム・介護老人保健施設・障害者支援施設・救護施設	施設見学の報告会発表を聞き、学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。
第9回	施設見学： 報告会資料 作成①		施設見学後、報告会資料をまとめる。発表の練習180分
第10回	施設見学： 報告会資料 作成②		施設見学後、報告会資料をまとめる。発表の練習180分
第11回	施設見学： 報告会資料 作成③		施設見学後、報告会資料をまとめる。発表の練習180分
第12回	施設見学： 報告会①	グループ別発表	施設見学の発表を聞き、学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。180分
第13回	施設見学： 報告会②	グループ別発表	施設見学の発表を聞き、学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。180分
第14回	施設見学： 報告会③	グループ別発表	施設見学の発表を聞き、学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。180分
第15回	施設見学： 報告会④	グループ別発表	施設見学の報告を聞き、学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。180分
テキスト	[題] 『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』 [著] 吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄 [出] みらい出版 2017年版 福祉省六法 みらい出版		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	レポート・報告会資料…(50%) 平常点…(50%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護総合演習Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	I期実習の事前授業・実習Ⅰの目的と主な介護内容	【I期実習の意義・目的】	予習：テキストp62～65を読んでくる(90分)
第2回	I期実習を前にして、実習施設の理解をする	【実習施設の概要】	予習：テキストP93～122を読んでくる(90分)
第3回	I期実習の配属先発表・個人票の作成	【目標・個人票】	予習：実習の目標を考える(90分) 復習：個人票の完成(90分)
第4回	I期実習に向けて記録の書き方を学ぶ①	【記録・事実と考察】	予習：テキストp41～47を読んでくる(90分) 復習：演習課題から記録を作成する(90分)
第5回	I期実習に向けて記録の書き方を学ぶ②	【記録・事実と考察】	予習：テキストp41～47を読んでくる(90分) 復習：演習課題から記録を作成する(90分)
第6回	2年生実習報告会の実施・参加	【報告会】	
第7回	2年生実習報告会の実施・参加	【報告会】	
第8回	I期実習に向けてのオリエンテーションの実施	【オリエンテーション】	予習：テキストP66～72を読んでくる(90分)
第9回	I期実習の振り返り・全体の評価・報告書の作成ポイント	【報告会・振り返り】	復習：自分の記録を振り返る(90分)
第10回	I期実習の報告書の作成	【報告会準備】	予習：実習報告書の下書き完成(90分)
第11回	I期実習の報告書の作成	【報告会準備】	予習：実習報告書の下書き完成(90分)
第12回	I期実習報告会	【報告会】	予習：自分の報告原稿を下読みする(90分)
第13回	I期実習報告会	【報告会】	予習：自分の報告会原稿を下読みする(90分)
第14回	Ⅱ期実習の意義と目的・実習施設の配属発表	【個人票作成】	予習：Ⅱ期実習の目標を考える(90分) 復習：個人票の作成(90分)
第15回	介護過程の展開方法・Ⅱ期実習オリエンテーション	【事前オリエンテーション】	予習：介護過程の展開方法を理解する(90分)

## テキスト

 七訂 介護福祉用語辞典 中央法規出版  
 改訂 介護職・福祉職のための医学用語辞典 中央法規出版

	介護実習で困らないためのQ & A 中央法規出版 適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	受講態度…50% レポート…30%) 出席…20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護総合演習Ⅲ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

- ①訪問介護における基本的な知識・技術を理解できる。  
 ②介護実習Ⅱを振り返り、介護実習Ⅳの目標設定と課題に対する取り組みができる。

## 授業概要

介護実習Ⅱの振り返りと介護実習Ⅳに向けての専門知識・技術・介護倫理の確認を行う。訪問介護の基本的知識を学び、実習体験の共有化を図ることで学びを深める。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション（介護実習Ⅲ）	【在宅福祉サービス】 【訪問介護】 【介護実習Ⅲの意義と目的】	予習：訪問介護の理解（60分）
第2回	訪問介護実習の内容を理解する	【訪問介護】 【視覚教材による理解】 【個人表】	復習：訪問介護サービスの理解および介護実習Ⅲの目標設定（90分）
第3回	社会福祉協議会の職員によるオリエンテーション	【社会福祉協議会】 【実習の心得】	復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ（90分）
第4回	実習報告会（介護実習Ⅱ）	【介護実習Ⅱ】 【情報の共有化】	予習：報告会資料の整理と発表準備（90分） 復習：報告会の振り返りとまとめ（90分）
第5回	実習報告会（介護実習Ⅱ）	【介護実習Ⅱ】 【情報の共有化】	予習：報告会資料の整理と発表準備（90分） 復習：報告会の振り返りとまとめ（90分）
第6回	実習報告会（介護実習Ⅲ）	【介護実習Ⅲの振り返り】 【情報の共有化】 【レポート】	予習：実習報告書の作成と準備（90分） 復習：授業内容の振り返りとまとめ（60分）
第7回	オリエンテーション（介護実習Ⅳ）	【介護実習Ⅱの振り返り】 【介護実習Ⅳの意義と目的】	予習：介護実習Ⅱの記録の整理と介護過程のまとめ（90分） 復習：授業内容の振り返りと課題の整理（60分）
第8回	介護実習Ⅱの振り返り	【記録と介護過程】 【生活支援技術】 【情報の共有化と実習課題】	予習：介護実習Ⅱの記録の整理と介護過程のまとめ（90分） 復習：授業内容の振り返りと課題の整理（60分）
第9回	プロセスレコード	【記録】 【介護過程】 【事実と考察】	予習：プロセスレコードの復習（60分） 復習：授業内容の振り返りとまとめ（60分）
第10回	事例検討	【介護倫理】 【相手の立場に立って考える】	復習：授業内容の振り返りとまとめ（60分）

第11回	介護実習Ⅳの意義と目的	【個人表】 【介護実習Ⅳの目標】	復習：実習施設の理解と介護実習Ⅳの目標設定 (90分)
第12回	実習個人表の作成	【個人表】 【実習目標】	予習：個人表の作成と提出準備 (90分)
第13回	記録と介護過程	【介護実習Ⅳにおける介護過程の展開】	予習：介護過程の基本的な理解 (90分) 復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ (60分)
第14回	介護実習計画	【介護実習Ⅳの実習計画】 【情報の共有化】	予習：実習報告書の作成と準備 (90分) 復習：授業内容の振り返りとまとめ (60分)
第15回	介護実習Ⅳのオリエンテーション	【介護実習Ⅳ事前準備】	予習：実習計画の理解(90分) 復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ(90分)
テキスト	[題] 『ワークで学ぶ介護実習・介護総合演習』 [出] (株)みらい		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	平常点(報告会・課題などの取り組み、実習の目標設定など)…(100%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅰ・Ⅱ、介護実習Ⅰ・Ⅱ		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護総合演習Ⅳ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①実習報告書の作成、発表ができる。 ②現場に必要な基本的な知識と技術が理解できる
授業概要	Ⅳ期実習の振り返りと共有化を図る。卒業後すぐに実践できるさまざまな視点からの技術や知識を学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	Ⅳ期実習の振り返り	【報告書作成】	予習：実習の振り返り(90分) 復習：報告書作成(90分)
第2回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習：報告書作成(90分) 復習：報告書作成(90分)
第3回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習：報告書作成(90分) 復習：報告書作成(90分)
第4回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習：報告書作成(90分) 復習：報告書作成(90分)
第5回	Ⅳ期実習報告会	【報告会、質疑応答】	予習：発表の準備(90分) 復習：発表の振り返り(90分)
第6回	Ⅳ期実習報告会	【報告会、質疑応答】	予習：発表の準備(90分) 復習：発表の振り返り(90分)
第7回	実習報告集作成	【報告集資料作成】	予習：資料作成の準備(90分) 復習：資料作成(90分)
第8回	実践講座①	【面談方法】	復習：学びの実践(90分)
第9回	実践講座②	【音楽レク 理論編 テスト対策】	予習：事前学習(90分) 復習：学びの実践(90分)
第10回	実践講座③	【音楽レク 実践編 テスト対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第11回	実践講座④	【音楽レク 実践編 テスト対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第12回	実践講座⑤	【音楽レク 実践編 テスト対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第13回	実践講座⑥	【音楽レク 実践編 テスト対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第14回	実践講座⑦	【音楽レク 実践編 テスト対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)

第15回 実践講座⑧	【労働関係の法律】	復習：振り返り(90分)
テキスト	適宜、プリント、資料を配布	
参考書・参考資料等	必要に資料の紹介	
上記到達目標の評価の方法	平常点(受講態度など)…(50%) その他(課題など)…(50%)	
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし	
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし	
その他特記事項	特になし	

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	介護実習 I
講義区分	実習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①実習施設及び利用者の理解ができる。 ②実習で基本的な介護技術を行うことできる。							
授業概要	施設実習では、主に施設内での介護福祉士の役割や行動、他職種との連携方法等について学ぶ。実習では実際の福祉施設に行き、そこで働いている実習指導者や他職種の人達から、多くの介護に関する知識や技術等を指導を受ける。今まで大学で学んだ基礎的な介護知識や技術を実際の現場の中で確認し向上させる。そして介護現場の中でしか学べない施設内での介護福祉士の在り方や毎日の介護記録の書き方、施設利用者とのコミュニケーション技術を学ぶ。							
授業計画表								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>学習内容</th> <th>学習課題（予習・復習）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>                             実習1の1段階                              実習期間は2週間(10日間) 1施設につき1週間(5日間)で2施設において実習する。                              実習期間中は現場の実習指導者より指導を受ける。                              実習巡回には大学の教員が担当する。                         </td> <td>                             毎日の実習目標                               毎日の実習記録                              (翌朝、実習指導者に提出)                         </td> </tr> </tbody> </table>	回	学習内容	学習課題（予習・復習）	第1回	実習1の1段階 実習期間は2週間(10日間) 1施設につき1週間(5日間)で2施設において実習する。 実習期間中は現場の実習指導者より指導を受ける。 実習巡回には大学の教員が担当する。	毎日の実習目標  毎日の実習記録 (翌朝、実習指導者に提出)	
回	学習内容	学習課題（予習・復習）						
第1回	実習1の1段階 実習期間は2週間(10日間) 1施設につき1週間(5日間)で2施設において実習する。 実習期間中は現場の実習指導者より指導を受ける。 実習巡回には大学の教員が担当する。	毎日の実習目標  毎日の実習記録 (翌朝、実習指導者に提出)						
テキスト	[題] 『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』 [著] 吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄 [出] (株)みらい							
参考書・参考資料等	実習ハンドブックを配布 実習記録用紙一式を持参							
上記到達目標の評価の方法	平常点…(70%) その他…(30%)							
履修しておくべきことが望まれる科目	「介護総合演習 I」							
教材費用・実習費用等の負担費用	実習先までの交通費ならびに宿泊に於ける食費等は自己負担となります。							
その他特記事項	この科目は、介護実習事前指導→実習指導→介護実習事後指導で成り立ちます。							

## シラバス参照

講義名	介護実習Ⅱ
講義区分	実習
基準単位数	5
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

①在宅介護の基本知識、技術の理解ができる。

## 授業概要

介護実習Ⅲでは、介護実習Ⅰの内容を踏まえて、介護現場における専門知識や生活支援技術の更なる向上と修得を目指し、在宅サービスの利用者とのかかわりを通して、地域における多職種連携を学ぶ。また、在宅サービス利用者の暮らしの場の理解や、在宅サービスの種類・利用方法等を学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】
第1回	介護実習Ⅲ（訪問介護実習）第3段階 実習期間は5日間	【訪問介護】 【カンファレンス】 【サービス担当者会議】
第2回	実習期間中は、実習施設の実習指導担当職員の指導を受ける 担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う	
第3回	介護実習Ⅲは介護総合演習Ⅲとリンクする この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ	

## テキスト

【題】『ワークで学ぶ介護実習・介護総合演習』  
【出】（株）みらい

## 参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・資料等を配布

## 上記到達目標の評価の方法

平常点(実習状況、記録など)…(100%)

## 履修しておくべきことが望まれる科目

特になし

## 教材費用・実習費用等の負担費用

特になし

## その他特記事項

特になし

## シラバス参照

講義名	介護実習Ⅲ
講義区分	実習
基準単位数	1
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①在宅介護の基本知識、技術の理解ができる。
授業概要	介護実習Ⅲでは、介護実習Ⅰの内容を踏まえて、介護現場における専門知識や生活支援技術の更なる向上と修得を行う。そして、在宅サービスを利用者とのかかわりを通して、暮らしの場の理解や介護サービスの種類・利用方法等を学ぶ。また、在宅サービスにおける多職種連携について学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】
第1回	介護実習Ⅲ（訪問介護実習） 実習期間は5日間	【訪問介護】 【カンファレンス】
第2回	実習期間中は、実習施設の実習指導担当教員の指導を受ける 担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う	
第3回	介護実習Ⅲは介護総合演習Ⅲとリンクする この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ	

テキスト	[題] 『ワークで学ぶ介護実習・介護総合演習』 [出] (株)みらい
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	平常点(実習状況、記録など)…(100%)
履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅰ・Ⅱ、介護実習Ⅰ・Ⅱ
教材費用・実習費用等の負担費用	実習施設により交通費等が必要となる
その他特記事項	特になし

## シラバス参照

講義名	介護実習Ⅳ
講義区分	実習
基準単位数	4
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護現場において知識や技術が活用できる。 ②ケアプランが適切に作成、実施できる。							
授業概要	介護実習Ⅳでは、介護実習Ⅰの内容を踏まえて、介護現場における介護知識や介護技術の更なる向上と習得を行いながら、担当した施設利用者にはどのような介護の仕方がいいのかを考えるケアプランの作成と実施に取り組みます。学校ではケアプランの作成のための授業を行っているのですが、その成果を活かしつつ、実際の現場におけるケアプラン作成の方法や難しさを経験しながら、実習指導者や巡回教員の指導のもとにケアプラン実施のため、やり方など学びます。							
授業計画表								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>学習内容</th> <th>【キーワード】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>介護実習Ⅳ・第4段階、実習期間は18日間、実習期間中は、実習施設の実習指導担職員の指導を受ける。担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う。介護実習は学内の介護実習指導とリンクする。この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ。</td> <td>【施設理解、利用者理解、ケアプラン、介護技術、多職種連携】</td> </tr> </tbody> </table>	回	学習内容	【キーワード】	第1回	介護実習Ⅳ・第4段階、実習期間は18日間、実習期間中は、実習施設の実習指導担職員の指導を受ける。担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う。介護実習は学内の介護実習指導とリンクする。この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ。	【施設理解、利用者理解、ケアプラン、介護技術、多職種連携】	
回	学習内容	【キーワード】						
第1回	介護実習Ⅳ・第4段階、実習期間は18日間、実習期間中は、実習施設の実習指導担職員の指導を受ける。担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う。介護実習は学内の介護実習指導とリンクする。この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ。	【施設理解、利用者理解、ケアプラン、介護技術、多職種連携】						
テキスト	[題] 『ワークで学び介護実習・介護総合演習』 [出] (株)みらい							
参考書・参考資料等	適宜紹介							
上記到達目標の評価の方法	平常点…(70%) その他・課題など…(30%)							
履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、介護実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ							
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし							
その他特記事項	特になし							

## シラバス参照

講義名	発達と老化の理解 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

本科目の到達目標	①人間の成長と発達の過程を学び、満足のいく老化を迎える生き方について述べるができる ②生涯発達の各段階の課題について学び、基礎的な理論から老年期の課題について説明できる ③老化に伴う心身の変化と日常生活への影響を学び、高齢者の生活の質の多様性について述べるができる
授業概要	①人間が成長・発達する過程、生涯発達の各段階の課題についての基礎知識を習得する ②老年期の発達と成熟、老化の概念を習得する ③老化に伴う心身の変化、日常生活に及ぼす影響についての基礎知識を習得する ④老年期の人間関係、高齢者の支援についての基礎知識を習得する

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス 人間の成長と発達（1） （成長・発達の考え方、成長・発達の原則）	到達目標、学習計画（学習内容・方法） 成長、発達、成長発達の原則、スキヤモン発育型、成長発達への影響因子、個人差	予習：初回内容（テキスト）を読む（90分） 復習：レスポンス記載（90分）
第2回	人間の成長と発達（2） （形態的成長、身体・精神機能の発達、心理社会的発達）	スティグリッツの生体諸機能の変化、身体バランス、ホルモン、免疫、視覚、聴覚、言語、情緒、社会性	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第3回	人間の成長と発達（3） （発達段階別にみた成長と発達、発達の評価）	乳児・幼児・学童・青年・成人各期のころとからだ、カウブ指数、ローレル指数、BMI	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第4回	人間の成長と発達（4） （生涯発達（ライフサイクル）の各段階の課題、発達理論）	ライフサイクルステージ、ライフタスク、フロイト、エリクソン、ピアジェ、ハウイガースト	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第5回	老年期の発達と成熟（1） （老化の定義、老化の学説）	老化、加齢、加齢性変化	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第6回	老年期の発達と成熟（2） （老年期のセクシュアリティ）	性格、人格、セクシュアリティ	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第7回	老年期の発達と成熟（3） （老年期の生活、家族、人間関係）	生活基盤、家族形態、人間関係	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第8回	老年期の発達と成熟（4） （老年期の喪失体験、老年者の	生老病死、喪失体験、悲嘆、死へのプロセス、リビングウィル、尊厳死	復習：レスポンス記載（90分）

	死)		予習：次回内容を読む (90分)
第9回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(1) (加齢による生理機能の全体的低下、身体機能の低下)	身体予備力、身体防衛機能、恒常性、加齢による生理的変化-循環器系	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第10回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(2) (身体機能の変化)	加齢による生理的変化-神経系、呼吸器系、骨・関節系	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第11回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(3) (身体的機能の変化)	加齢による生理的変化-泌尿器系、生殖器系、感覚器系	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第12回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(4) (知的・認知機能、精神的機能の変化)	知的・言語・認知機能、記憶	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第13回	高齢者を取り巻く社会の動向 (1)	老年観、サクセスフルエイジング、アクティブエイジング	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第14回	高齢者を取り巻く社会の動向 (2)	老人医療、高齢者福祉	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第15回	全体の振り返りとまとめ 試験対策(練習問題)	到達目標の達成度、知識の補充、練習問題	復習：レスポンス記載 (90分) 練習問題(90分)
テキスト	[題] 『発達と老化の理解』 [著] 林 泰史 他 編著 [出] メヂカルフレンド社		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	定期(筆記)試験…(50%) レスポンス、レポート…(30%) 平常点…(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

## シラバス参照

講義名	発達と老化の理解Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

## 本科目の到達目標

- ①高齢者に多い症状と日常生活における留意点を理解し、説明ができる。
- ②高齢者に多い病気と日常生活での注意点について理解し、説明ができる。
- ③高齢者の検査の意義や薬の管理及び緊急時の対応について理解し、説明ができる。

## 授業概要

老年期の心身の変化や課題を理解し、高齢者に多い症状や疾病の特徴を心身および社会的側面から捉え、対処するための基本的知識と対応の方法を学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス 高齢者に多い症状・病気の特徴と統計的傾向	到達目標 学習計画（学習内容・方法） 有訴者（率）、通院者（率）、受療状況、廃用（老年）症候群	予習：「発達と老化の理解Ⅰ-老化に伴う心身の変化の特徴」（テキスト・資料）を読む（90分） 復習：レスポンス記載（90分）
第2回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点（1） 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	痛み、かゆみ、冷え、むくみ、褥瘡	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第3回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点（2） 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	便秘、嚥下障害、食欲不振、低栄養、脱水	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第4回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点（3） 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	視力低下、難聴、不眠、抑うつ状態、不安、せん妄	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第5回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点（1）（循環器系、呼吸器系）各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	高血圧、心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、起立性低血圧症、肺炎、気管支喘息、肺結核症、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第6回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点（2）（神経系、内分泌・代謝系、消化器系）各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	脳梗塞、パーキンソン病、認知症、甲状腺疾患、糖尿病、脂質異常症、痛風、逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、慢性肝疾患、大腸炎・大腸ポリープ	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第7回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点（3）（骨・関節系、腎・泌尿器系、生殖器系）各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性脊椎症、変形性膝関節症、大腿骨頸部骨折、尿失禁、前立腺肥大症、尿路感染症、膣炎、子宮脱、卵巣嚢腫	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第8回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点（4）	貧血、老人性皮膚掻痒症、湿疹、疥癬、白癬、	復習：レスポンス記載（90分）

	(血液の病気、皮膚の病気、感覚器の病気) 各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	白内障、緑内障	分) 予習：次回内容を読む(90分)
第9回	介護保険の特定疾患 各疾病の定義・原因・病態生理・症状・介護のポイント	介護保険、第2号被保険者、ALS、パーキンソン病、脊柱管狭窄症、閉塞性動脈硬化症、がん末期	復習：レスポンス記載(90分) 予習：次回内容を読む(90分)
第10回	高齢者の感染症及び予防 (主な感染症の定義・感染経路・症状・介護のポイント、介護者の感染予防対策)	MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、敗血症、腸管出血性大腸菌(o-157)感染症、ノロウイルス感染症、スタンダードプリコーション	復習：レスポンス記載(90分) 予習：次回内容を読む(90分)
第11回	高齢者の検査の意義と結果の把握、患者指導 (高齢者の検査の特徴、高齢者の検査及び検査値設定の留意点、各検査項目の意義)	血清総たんぱく、アルブミン、血清脂質、肝機能、腎機能、電解質、赤血球、白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、胸部X線検査、心電図、肺活量	復習：レスポンス記載(90分) 予習：次回内容を読む(90分)
第12回	高齢者の薬の管理 (薬の種類・形態、薬の作用・副作用、薬の保管、服薬介助)	薬の吸収と動態、散剤、顆粒剤、錠剤、カプセル剤、液剤、坐薬、軟膏、貼付剤、介護福祉士が実践可能な業務	復習：レスポンス記載(90分) 予習：次回内容を読む(90分)
第13回	緊急時の介護(1) (緊急時に備える、急な体調変化への対応)	身体状態の見分け方、情報把握、連絡・支援体制、救急要請、意識の異常、痙攣、体温上昇、呼吸異常、脈の異常、高血圧・低血圧、胸痛、脱水、嘔吐	復習：レスポンス記載(90分) 予習：次回内容を読む(90分)
第14回	緊急時の介護(2) (事故が起こった際の対応)	転倒・転落、誤飲・誤薬、熱傷、骨折	復習：レスポンス記載(90分) 予習：次回内容を読む(90分)
第15回	全体の振り返りとまとめ 試験対策(練習問題)	到達目標の達成度、知識の補充	復習：レスポンス記載(90分) 練習問題(90分)

テキスト	[題] 発達と老化の理解 [著] 林 泰史 他 [出] メチカルフレンド社  適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	定期(筆記)試験…(50%) レスポンス、レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

## シラバス参照

講義名	認知症の理解 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(ラ・地)選択 (介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 松本 行弘	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①認知症の基礎知識を理解し、ケアの実際に生かすことができる ②認知症の人の心理的特徴を理解し、生活の不自由さについて考えることができる ③認知症の人の生きる思いや悩みについて考えることができる ④認知症の人のケアを理解し、ケアの基本について考えることができる
授業概要	①高齢社会における認知症ケアの将来に向けての保健・医療・福祉援助の視点を習得する ②認知症の定義、原因となる主な疾患、類似症状等の基礎的知識を習得する ③認知症ケアの前提となるアセスメント法や見立てを習得する ④認知症ケアの理念・原則、かかわりの基本について習得する ⑤認知症者とのコミュニケーションを理解し、その基本を習得する

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに：認知症を取り巻く状況について	【認知症の歴史】 【ケアの現状】	予習：テキストの「はじめに」を読み、全体に目を通すこと（180分）
第2回	認知症の基礎知識：認知症とは何か	【定義】 【疾患別頻度】 【高齢社会と今後】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第3回	認知症の基礎知識：認知症の症状	【中核症状】 【BPSD 周辺症状】 【人格変化】 【重症度】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第4回	認知症の基礎知識：認知症のアセスメント	【アセスメント法】 【スクリーニング検査】 【MMSE】 【行動観察尺度】 【ADL評価尺度】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第5回	認知症の基礎知識：認知症と間違われやすい状態	【間違われやすい状態】 【うつ】 【せん妄】 【身体疾患】 【薬物】 【鑑定ポイント】 【事例】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第6回	認知症の基礎知識：認知症の発症因子と	【原因疾患】 【アルツハイマー型認知症】 【レビー小体型認知症】 【前頭側頭葉変性症】 【ピック病】 【血管性認知症】 【正常圧水頭症】 【内分泌代謝疾患】 【精神作用・薬物】 【若年性認知症】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第7回	認知症の基礎知識：治療と発生機序、危険因子 認知症基礎知識のまとめ	【薬物療法】 【非薬物療法】 【発生機序】 【神経原線変化】 【老人斑】 【生活習慣病】 【アミロイドβ蛋白】 【遺伝子変異】 【危険因子】 【軽度認知障害MCI】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（180分）

第8回	認知症者に対するケアの基本：認知症者のケアの原則	【7つの認知症ケア】【その人らしさ】【当たり前の生活保障】【時代背景】【共感】【自覚】【チーム】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第9回	認知症者に対するケアの基本：認知症者への基本的ケア	【基本的ケア】【見守り】【健康管理】【かかわり】【五感】【興味・関心】【気分転換】【チームケア】【行動変容】【リハビリテーション】【基本的欲求】【家族ケア】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第10回	認知症者に対するケアの基本：認知症アセスメント	【健康】【安全】【自立支援】【安心】【個別性】【支援体制】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第11回	認知症者に対するケアの基本：認知症者の生活支援・ターミナルケア 基本的ケアのまとめ	【生活環境づくり】【食事環境】【服薬】【排泄】【清潔】【姿勢と動作】【活動と休息】【更衣】【ターミナルケア】【死生観】	復習：前回の振り返り（180分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第12回	認知症者とのコミュニケーション：コミュニケーションの基盤	【コミュニケーション】【尊厳とケアの質】【ケアの理念・目的】【家族の生活史】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第13回	認知症者とのコミュニケーション：コミュニケーションの実際（事例検討）	【コミュニケーション基本的技術】【事例検討】【回想法】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（180分）
第14回	チーム・地域で取り組む認知症ケア	【チームケア】【居住環境】【コミュニティ】【地域連携】【まちづくり】【地域ケアシステム】【リスクマネジメント】【地域包括支援センター】【高齢者虐待】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第15回	家族への支援・人権擁護全体のまとめ	【家族支援】【社会支援】【人権擁護】【成年後見制度】【日常生活自立支援事業】	復習：前回の振り返り（180分）
テキスト		[題] 『認知症の理解 第二版』 介護福祉士養成テキストブック第11巻 [著] 井上千津子・他監修 [出] ミネルヴァ書房 ¥2,600+税	
参考書・参考資料等		『認知症診療の実践テクニック』 医学書院 「高齢者福祉論」第5章認知症ケアとターミナルケア ミネルヴァ書房	
上記到達目標の評価の方法		期末筆記試験…(70%) 平常点(受講態度・レスポンスペーパー等)…(30%)	
履修しておくべきことが望まれる科目		特になし	
教材費用・実習費用等の負担費用		テキスト代：ミネルヴァ書房 ¥2,600+税	
その他特記事項		各講義終了前の5分程度でレスポンスペーパーを書き、提出する。	
備考		必ず次章を読んでおくこと。	

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	認知症の理解Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①認知症の人の生活の不自由さを学び、認知症ケアについて事例を通して考察できる ②認知症の人の家族の気持ちや悩みについて学び、他職種との連携・協働、公的サービスの利用について説明できる ③演習を通して自己の介護観を育み、表現することができる
授業概要	①家族の葛藤・介護力、在宅ケアの実際を習得する ②認知症の人の権利を守る諸制度、行政・施策を習得する ③介護現場の指導者と共にⅠ・Ⅱ期実習をふりかえり、認知症ケアの実際について考察する ④認知症ケアにおける今日の課題について関心を持ち、考えることができる ⑤演習を通して学生一人ひとりが認知症ケアについて自己の考えを述べ、他者の意見に耳を傾け協議することができる

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション・認知症を取り巻く現状	【認知症の歴史】【新レジプラン】	予習：テキストを読むP2～10(90分)
第2回	認知症ケアにおける歴史（DVD鑑賞）	【認知症介護】	予習：テキストを読んでくるp6～15(90分)
第3回	認知症ケアの理念と視点（DVD鑑賞の続き）	【ICF】【家族支援】	復習：演習1-1（90分） 演習1-4
第4回	「施設における認知症ケアの実際①」 認知症の人の行動・心理的理解	【BPSD】	復習：中核症状とBPSDに関するレポート課題（90）
第5回	「施設における認知症ケアの実際②」 老化の仕組みと脳の変化	【脳の機能】【能の変化】	予習：テキストp24～51読んでくる(90分)
第6回	演習（Ⅱ期実習のふりかえり、Ⅱ期実習の学び）	【自己の介護観】	復習：自分のプランの見直し(90分)
第7回	認知症の原因疾患	【アルツハイマー型認知症】【脳血管性認知症】 【レビー小体型認知症】【ピック病】	予習：p58～83まで読んで理解する(90) 復習：演習課題2-5
第8回	若年性認知症 DVD鑑賞	【若年性認知症】	復習：DVDを観てのレポート課題作成(90分)
第9回	中間まとめ、小テスト	【到達目標の達成】【考察】	復習：テキストを読んでまとめる(90分)
第10回	「ご家族による認知症ケアの実際①」 認知症の人と家族の会（滋賀県支部）	【在宅介護】【男性家族による介護の特徴】【レパイト】【家族会の活動】 【住みなれた地域】	
第11回	認知症の人を介護するために	【本人の声】【家族の声】	復習：演習課題3-1・3-3

			2 (90分)
第12回	認知症の人の生活の理解	【人と生活】 【家族支援】	予習：テキストp124～143を読んで理解しておく(90分)
第13回	認知症の人のケアと権利を守る 利、成年後見制度 ②虐待防止	①認知症の人の権利 【地域包括支援センターの活動】 【倫理綱領】 【人権・権利・尊厳】 【成年後見制度】 【事故防止】	予習：テキストp144～182を読む(90分)
第14回	認知症の人のケアと権利を守る 安心して暮らせる社会へ	③認知症になっても 【地域包括支援センターの活動】 【倫理綱領】 【人権・権利・尊厳】 【成年後見制度】 【事故防止】	予習：テキストp278～300を読む(90分)
第15回	まとめ、小テスト	【自己の変化・成長】 【社会人基礎力】	予習：演習課題7-2・7-3(90分)
テキスト	[題] 『認知症の理解』 [出] 中央法規出版		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	レポート試験…(60%) 小テスト…(20%) 平常点…(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	障害の理解 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

本科目の到達目標	①障害のある人の心理や身体機能に関する基礎知識を理解し、説明できる。 ②障害のある人の体験を理解し、本人や家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を説明できる。
授業概要	障害に関する基礎知識や障害による症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解し、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための知識を習得する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス 障害とは、肢体不自由（運動機能障害）とは	到達目標、学習計画（学習内容・方法）、障害、障害が及ぼす心理的影響、肢体不自由の定義、状態像・原因	予習：初回内容（テキスト）を読む（90分） 復習：レスポンス記載（90分）
第2回	運動機能障害（上下肢の機能障害）のある人の生活	上下肢の機能障害の形態、麻痺、慢性関節リウマチ	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第3回	運動機能障害（体幹の機能障害）のある人の生活	体幹の機能障害、脳性麻痺、脊髄・頸髄損傷	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第4回	運動機能障害（中枢神経系の障害）のある人の生活	中枢神経系の機能障害、頸髄損傷脊髄損傷、高次脳機能障害	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第5回	内部障害（心臓機能障害）のある人の生活	心臓機能障害の種類・原因・特性、虚血性心疾患、ペースメーカー	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第6回	内部障害（腎機能障害）のある人の生活	腎機能障害の種類・原因・特性、慢性腎不全、血液透析	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第7回	内部障害（呼吸機能障害）のある人の生活	呼吸機能障害の種類・原因、慢性閉塞性肺疾患、在宅酸素療法	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第8回	内部障害（膀胱・直腸機能障害）のある人の生活	膀胱・直腸機能障害の種類・原因・特性、ストマ	復習：レスポンス記載（90分） 予習：次回内容を読む（90分）
第9回	内部障害（小腸・肝臓機能障害）の	小腸機能障害の種類・原因・特性、栄養法、肝臓機能障害の種	復習：レスポンス記載

	ある人の生活	類・原因・特性、肝炎	(90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第10回	ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障害のある人の生活	HIVによる免疫機能障害の種類・原因・特性	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第11回	全介助を要する人（寝たきり状態の人）の理解	全介助状態、ねたきり状態、廃用症候群、感染症	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第12回	難病のある人の生活	難病の種類・原因・特性、ALS、SLE、パーキンソン病	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第13回	視覚障害のある人の生活	視覚障害の種類・原因・特性、白内障	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第14回	聴覚・言語障害のある人の生活	聴覚・言語障害の種類・原因・特性、難聴、失語症	復習：レスポンス記載 (90分) 予習：次回内容を読む (90分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、試験対策（練習問題）	到達目標の達成度、知識の補充	復習：レスポンス記載 (90分) 練習問題(90分)
テキスト	[題] 『新・介護福祉士養成講座13 「障害の理解」』 [著] 介護福祉士養成講座編集委員会 [出] 中央法規		
参考書・参考資料等	[題] 『生活支援技術Ⅲ』 [著] 介護福祉士養成講座委員会編集 [出] 中央法規		
上記到達目標の評価の方法	定期(筆記)試験…(50%) レスポンス、レポート…(30%) 平常点…(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	障害の理解Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(ラ・地)選択 (介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 松本 行弘	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①障害のある人の心理・社会機能に関する基礎的知識を理解できる。 ②障害のある人の体験を理解し、本人を取り巻く周囲の環境や自立に向けた生活支援の視点を理解できる。 ③支援のためのチームアプローチや組織・機関の連携を理解できる。 ④障害のある人やその家族に対する支援のあり方や社会資源の活用の仕方を理解できる。
授業概要	障害の概念や福祉の基本理念を理解するとともに、それぞれの障害に関する症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解し、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための知識を習得する学習とする。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに 障害の概念	【国際生活機能分類】【医学モデルと社会モデル】【障害者自立支援法】	予習：テキスト第1章の講読(120分)
第2回	障害者福祉の基本的理解 基本的考え方・歴史と展開	【障害者の人権】【ノーマライゼーション】【障害者福祉】【インバウンド】	復習：前回の振り返り(180分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第3回	障害の理解 精神障害の理解	【概念】【精神疾患】【症状】【支援】	復習：前回の振り返り(120分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第4回	障害の理解 知的障害の理解	【概念】【分類】【特性】【支援】	復習：前回の振り返り(120分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第5回	障害の理解 発達障害の理解	【概念】【分類】【対応】【支援】	復習：前回の振り返り(120分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第6回	障害の理解 高次脳機能障害の理解	【概念】【診断基準】【日常生活】【支援】	復習：前回の振り返り(120分) 予習：次節のテキスト講読(120分)
第7回	事例検討	【事例からの学び】	復習：前回の振り返り(120分) 予習：次節のテキスト講読(180分)
第8回	自立支援のための連携と協働 自立支援とチームアプローチ	【自立支援】【チームアプローチ】	復習：前回の振り返り(120分) 予習：次節のテキスト講読(120分)

第9回	自立支援のための連携と協働 子のための連携と地域づくり	チームアプロー	【連携】 【町づくり】 【地域づくり】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第10回	障害の及ぼす心理的影響	二つの苦しみ	【アイデンティティ障害】 【排除と遠慮】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第11回	障害の及ぼす心理的影響	障害受容をめぐる	【障害受容の概念】 【ステージ理論】 【社会受容】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第12回	当事者及び家族への援助	当事者への支援	【自己決定支援】 【自立支援】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第13回	当事者及び家族への援助	家族への支援	【家族支援】 【レスパイトサービス】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第14回	事例検討		【事例からの学び】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：テキスト・ノートの振り返り（180分）
第15回	全体の振り返り・まとめ		【振り返り】	復習：前回を含め、全体の振り返り（180分）

テキスト	[題] 『障害の理解』 介護福祉士養成テキストブック 1 2 [著] 小澤 温 [出] ミネルヴァ書房 ¥2,600+税
参考書・参考資料等	「高齢者福祉論」第5章認知症ケアとターミナルケア ミネルヴァ書房 「エピソードでつかむ老年心理学」 ミネルヴァ書房 [題] 『エピソードでつかむ老年心理学』 [出] ミネルヴァ書房
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点(受講態度・レスポンスペーパー等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	テキスト代： ¥2,600+税
その他特記事項	各講義終了前の5分程度でレスポンスペーパーを書き、提出する。
備考	必ず次章を読んでおくこと。

## シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの基礎 A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①介護に必要な医学知識・技術の基本となる人体の構造や機能について理解、説明できる ②介護を行う際、必要な人体のしくみやはたらき、およびその病的な状態について理解し、説明できる ③介護サービスの提供時における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解し、実践できる ④こころとからだの連携について理解し、全人的なみかたを学習し、説明できる
授業概要	介護の基礎となる生命の維持・恒常のしくみ、基本的な人体の構造や機能を理解し、こころとからだの老化、障害、主な疾患についても理解を深める。利用者の状態をみて、こころとからだの両面から、その状態がどのような要因から引き起こされているのか、生活行動にどのようにつながっていくのかなど、根拠をもって理解・判断できるように医学的知識を修得する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ①	【健康とは】	復習：履修内容(90分) 予習：次回範囲(90分)
第2回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ②	【人体の区分、細胞と組織、脳神経系】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分) 課題レポート作成(60分)
第3回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ③	【呼吸・循環器系】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分) 課題レポート作成(60分)
第4回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ④	【消化器系】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分) 課題レポート作成(60分)
第5回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ⑤	【代謝、泌尿器、皮膚、骨格、筋系】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分) 課題レポート作成(60分)
第6回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ⑥	【平衡聴覚、視覚、味覚、生殖、免疫系】	復習：履修内容(60分) 予習：第1～6回授業内容(120分)
第7回	ふり返りとまとめ ①	【小テスト】	復習：理解が不十分であったところ(60分) 予習：次回範囲(120分)
第8回	こころとからだのしくみを理解する 主な症状 ①	【循環、呼吸】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分)
第9回	こころとからだのしくみを理解する 主な症状 ②	【排泄、その他】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分)
第10回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ①	【呼吸、循環器疾患】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分)
第11回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患	【腎・泌尿器、消化器疾患】	復習：履修内容(60分)

	の概要 ②		予習：次回範囲(120分)
第12回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ③	【消化器、神経、筋疾患】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分)
第13回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ④	【血液、内分泌、代謝性疾患】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分)
第14回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ⑤	【感染症、膠原病、運動器、感覚器、皮膚疾患】	復習：履修内容(60分) 予習：次回範囲(120分)
第15回	ふり返りとまとめ ②	【小テスト】	復習：履修範囲全体の俯瞰(180分)
テキスト	[題] 医学一般、最新介護福祉全書 別巻1 [著] 山口 昇(編) [出] メヂカルフレンド社		
参考書・参考資料等	[題] 新版 からだの地図帳 [著] 佐藤達夫(監) [出] 講談社  [題] のほほん解剖生理学、[著] 玉先生、[出] 永岡書店 [題] 一步一步学ぶ生命科学、[監] 日本生理学会教育委員会、[出] 女子栄養大学 [題] 新版 病気の地図帳、[著] 山口和克(監)、[出] 講談社 [題] 高齢者介護 急変時マニュアル、[著] 美濃良夫(編)、[出] 講談社  必要に応じ参考資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(40%) 小テスト・復習テスト…(30%) レポート…(15%) 平常点…(15%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	講義、反転授業、予習・復習テスト方式で学習。 学外講師による授業も予定。授業内容に変更の可能性あります。		
備考	授業用URLは授業時に開示		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの基礎B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護技術の根拠となる、人体の構造や機能を理解し説明できる。 ②機能低下が及ぼす、さまざまなこころとからだへの影響を予測でき説明できる。
授業概要	からだところのしくみ、みじたく、活動・移動に関連したしくみについて学習していく。各章毎に小テストを行い、再認識をしていく。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 生きているしくみの理解①	体・臓器・体の部位・名称・細胞・組織・器官	予習：(90分) 復習：(90分) ①今までのこころとからだのしくみを復習する。 ②授業中に行ったテストの不正解した問題を正しく裏付けして、ノートに記入する。
第2回	生きているしくみの理解②	ホメオスタシス・自律神経	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる。
第3回	生きているしくみの理解③	呼吸と循環のしくみ・バイタルサイン	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる。
第4回	生きているしくみの理解④	ストレス・非特異質防御システム・再生・修復	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、小テストに備える。 演習問題P51の演習課題をノートにまとめる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる。
第5回	こころのしくみの理解①	脳の構造・感覚・知覚・認知	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる。
第6回	こころのしくみの理解②	記憶・学習・動機づけ・欲求の段階説	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる。
第7回	こころのしくみの理解③	こころの構造・自己概念・発達段階	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる。
第8回	こころのしくみの理解④	防衛機能・フラストレーション・ストレス関連障害	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、小テストに備える。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 理解できたことをノートにまとめる。 ③授業中に行ったテストで不正解した問題を正しく裏付けして、ノートに記入する。

第9回	身じたくのしくみの理解①	顔面・感覚器・口腔・爪・毛髪の構造	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 理解できたことをノートにまとめる。
第10回	身じたくのしくみの理解②	洗顔・口腔の清潔・更衣・スクエアオフ・結髪	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 理解できたことをノートにまとめる。
第11回	身じたくのしくみの理解③	視覚機能・運動機能・認知機能の低下・障害	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 理解できたことをノートにまとめる。
第12回	移動・移乗に関連したしくみの理解①	顔面（骨・筋肉）の構造	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 理解できたことをノートにまとめる。
第13回	移動・移乗に関連したしくみの理解②	顔面（眼球・鼻・耳・口腔）の構造	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 理解できたことをノートにまとめる。
第14回	移動・移乗に関連したしくみの理解③	IADL・BADL・姿勢・立ち上がり・歩行・ボディメカニクス	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第15回	移動・移乗に関連したしくみの理解④ まとめ	廃用症候群・褥瘡	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる

テキスト	[題] 「こころとからだのしくみ」 [著] 小坂橋喜久代 松田たみ子 [出] メヂカルフレンド社
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(50%) 小テスト・ノート提出…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

## シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの理解 A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①介護福祉士に必要な精神保健・制度・施策について理解・説明できる ②こころとからだの連携について理解を深め、全人的なみかたができる ③介護に必要とされる医学知識、観察力、判断能力を習得し、他職種、多職種と連携、協働できる
授業概要	介護福祉の分野では「こころとからだの健康」の保持・増進のために、精神医学および精神保健の双方の知識と考え方を必要とする。精神疾患・障害についての基礎的な知識と精神保健の考え方について学習する。老化やさまざまな疾患、障害などがある利用者に対して、こころとからだの両面から、その連携から、どのような要因から引き起こされているのか、生活行動にどのようにつながっていくのか、社会や施設でどのように支援していくのかなどにつき考察・理解を深める。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	精神保健概説	【学習法、こころとは、精神医学と精神保健】	復習：履修内容（60分） 次回の予習、課題レポート作成（120分）
第2回	精神保健の基礎 ① 6 心の働きとその理解	【こころの働き】	復習：履修内容（60分） 次回の予習、課題レポート作成（120分）
第3回	精神症状の知識	【精神症状とは】	復習：履修内容（60分） 次回の予習（120分）
第4回	精神保健の基礎 ② 7~9 精神障害の原因	【精神障害の原因、発達】	復習：履修内容（60分） 次回の予習（120分）
第5回	精神障害の知識 ① 1~2	【器質性精神障害、精神作用物質】	復習：履修内容（60分） 次回の予習（120分）
第6回	精神障害の知識 ② 3~4	【統合失調症、気分障害】	復習：履修内容（60分） 次回の予習（120分）
第7回	精神障害の知識 ③ 5~11	【神経症性障害】	予習と復習：履修範囲
第8回	ふり返りとまとめ	【小テスト】	復習：履修範囲
第9回	精神障がい者 理解と支援 滋賀八幡病院 講師	【多職種連携、精神障害、地域支援】	課題レポート作成（180分）
第10回	歯科について知っておいてほしいこと 湖東歯科医師会 講師	【多職種連携、口腔疾患、嚥下障害】	課題レポート作成（180分）
第11回	リハビリテーションについて知っておいてほしいこと 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター 講師	【多職種連携、リハビリテーション】	課題レポート作成（180分）
第12回	薬について知っておいてほしいこと 八幡蒲生薬剤師会 講師	【多職種連携、薬剤、薬剤管理、地域支援】	課題レポート作成（180分）

第13回	地域医療について知っておいてほしいこと 東近江市蒲生医療センター 講師	【多職種連携、地域保健、地域医療】	課題レポート作成 (180分)
第14回	地域保健について知っておいてほしいこと 東近江市福祉総合支援課 講師	【多職種連携、地域福祉、地域保健】	課題レポート作成 (180分) 予習 (60分)
第15回	社会と精神保健 1~4	【社会と精神保健】	全回の俯瞰、復習 (180分)
テキスト	[題] 新版 精神保健 第3版 [著] 石井厚 (監) [出] 医学出版社		
参考書・参考資料等	[題] ころとからだのしくみ、新・介護福祉士養成講座14 [出] 中央法規  [題] 障害の理解、新・介護福祉士養成講座13 [出] 中央法規  [題] 医学一般、最新介護福祉全書 別巻1 [著] 山口 昇 (編) [出] メヂカルフレンド社		
上記到達目標の評価の方法	定期試験 …(40%) 予習・小試験 …(30%) 平常点(レポート・受講態度等)…(30%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	ころとからだのしくみの基礎A		
教材費用・実習費用等の負担費用	研修参加の場合は交通費実費		
その他特記事項	講義および予習・復習テスト方式で学習。 学外講師による講義も予定、授業内容変更もあります。  希望者は精神科病院の見学・研修を予定。		
備考	授業用URLは授業時に開示		

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの理解B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護技術の根拠となる、人体の構造や機能を理解し、説明ができる。 ②機能低下が及ぼす、さまざまなこころとからだへの影響を予測し、介護サービスの提供における安全への留意ができ、心理的配慮について理解できる。
授業概要	移動・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠に関連したこころとからだのしくみ、死にゆく人のこころとからだのしくみについて学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション： 食事に関連したこころとからだのしくみ	前期テストの復習 食欲・おいしさ・消化と吸収・栄養素・栄養量	予習：①からだの部位や名称をレポートにまとめる（90分） 復習：②前期テストの誤りをレポートにまとめる（90分）
第2回	食事に関連したこころとからだのしくみ	消化・吸収のしくみ・摂食と嚥下	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第3回	食事に関連したこころとからだのしくみ	視覚・運動・咀嚼・嚥下・消化機能の低下 誤嚥・窒息・水分量・脱水症状	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第4回	食事に関連したこころとからだのしくみ	まとめ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第5回	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみ	皮膚・頭髪・汗 リラクゼーション・入浴の効果・作用	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第6回	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみ	視覚・運動・皮膚・循環・機能の低下	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第7回	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみ	まとめ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第8回	排泄に関連したこころとからだのしくみ	尿の生成のしくみ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第9回	排泄に関連したこころと	尿の生成のしくみ・排尿	予習90分 復習90分

	からだのしくみ	障害・尿失禁	①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第10回	排泄に関連したところとからだのしくみ	便の生成・排便のしくみ・下痢・便秘	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第11回	排泄に関連したところとからだのしくみ	まとめ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第12回	睡眠に関連したところとからだのしくみ	概日リズム・睡眠・ノンレム睡眠・不眠・睡眠異常	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第13回	睡眠に関連したところとからだのしくみ	不眠・睡眠異常	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第14回	死にゆくところとからだのしくみ	死の定義・リビングウィル・脳死と植物状	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第15回	死にゆくところとからだのしくみ	ターミナル期の身体機能の変化・受容 まとめ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
テキスト	[題] 『ところとからだのしくみ』 [著] 小坂橋喜久子等 編集 [出] メヂカルフレンド社		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布		
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 平常点(受講態度等)…(20%) レポート・小テスト…(30%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	特になし		

## シラバス参照

講義名	医療的ケア I
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次春学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①喀痰吸引等における基本的知識を身につける。 ②喀痰吸引や経管栄養の行為や根拠・目的を理解できる。
授業概要	吸引や経管栄養の解説を行い、講義終了後に筆記テストを行う。 医療的ケアⅡ（演習）に進むためには、医療的ケアⅠの筆記試験に合格する必要がある。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	1章 医療的ケアを学ぶために	社会福祉士及び介護福祉士法(第2条第1項) 実質的違法阻却 喀痰吸引等	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第2回	2章 喀痰吸引の安全な実施	生活支援と医行為 医師法・保健師・助産師・看護師法 認定特定行為業務従事者	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③原則として医行為ではない行為について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第3回	3章 保健医療制度とチーム医療	チーム医療 業務独占・名称独占 医療的ケアに関連する法律	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③医療保険・介護保険制度や医療を行う職種について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第4回	4章 介護における生活支援と介護の内容	人間の尊厳 介護の倫理 医療の倫理 インフォームド・コンセント	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③日本介護福祉士会倫理綱領について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第5回	5章 健康状態の把握	バイタルサイン 観察	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③年齢によるバイタルサインの正常値を調べて、生活支援技術bを振り返る。④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第6回	5章 健康状態の把握	バイタルサイン 観察	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③施設において応急処置、緊急連絡などの対応について調べてくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第7回	6章 清潔保持と感染予防	感染予防 標準予防策	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③在宅や施設での感染症とは何を示すのか、どのような疾病か調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。

第8回	6章 清潔保持と感染予防	消毒と滅菌の違い	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③感染症に応じたそれぞれの消毒方法について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第9回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	呼吸器官 ガス交換 正常な呼吸 たんの性状	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③呼吸のしくみや名称について覚えてくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第10回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	呼吸困難 低酸素症 喀痰吸引	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③たんが生じて排泄するしくみやたんが貯留する状態や疾病を調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第11回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	侵襲的人工呼吸器 気管カニューレ	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③人工呼吸器がどのような利用者に使われているのか疾患について学ぶ。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第12回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	非侵襲的人工呼吸器	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③人工呼吸器装着者の呼吸管理や医師・看護職員との連携について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第13回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	喀痰吸引を行っている利用者の気持ち・家族の思い 口腔ケア 小テスト	予習①②③：90分 復習③④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。④口腔ケアについて調べる。
第14回	8章 喀痰吸引の実施手順	喀痰吸引の必要物品 器具・器材の消毒法 吸引圧の調整	予習①②：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。④必要物品の準備や吸引圧の調整ができるように練習する。
第15回	8章 喀痰吸引の実施手順	喀痰吸引の技術 準備・実施・片づけ	予習①②③：90分 復習④⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③吸引のDVDを視聴してくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。⑤浸漬法や乾燥法の違いが言える。
第16回	8章 喀痰吸引の実施手順	口腔内吸引の技術 準備・実施・片づけ・記録	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③口腔内吸引のDVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第17回	8章 喀痰吸引の実施手順	鼻腔内吸引 準備・実施・片づけ・記録	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③鼻腔内吸引のDVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第18回	8章 喀痰吸引の実施手順	気管カニューレ内部吸引 準備・実施・片づけ	予習①②③：90分 復習④⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③気管カニューレ内部の吸引DVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出⑤滅菌手袋の装着ができるよう練習する。。
第19回	8章 喀痰吸引の実施手順	気管カニューレ内部の吸引 準備・実施・片づけ 記録	予習①②③：90分 復習⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。⑤滅菌手袋の装着ができるよう練習する。。
第20回	9章 食事と経管栄養	消化器のしくみ 摂食・嚥下の5段階	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第21回	9章 食事と経管栄養	栄養摂取	予習①②：90分 復習③：90分

		経管栄養法 胃ろう	①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第22回	9章 食事と経管栄養	経鼻経管栄養・腸ろう	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第23回	9章 食事と経管栄養	経管栄養法の種類 経腸栄養剤	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第24回	9章 食事と経管栄養	経管栄養でおこるトラブル・異常	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第25回	9章 食事と経管栄養	家族・利用者の気持ち 日常生活におけるケア 小テスト	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第26回	10章 経管栄養の実施手順	経管栄養の必要物品 器具・器材の消毒法	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第27回	10章 経管栄養の実施手順	胃ろうによる経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第28回	10章 経管栄養の実施手順	胃ろうによる経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第29回	10章 経管栄養の実施手順	経鼻経管栄養による経管 栄養 準備・実施・片づけ・消毒・報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第30回	10章 経管栄養の実施手順	経鼻経管栄養による経管 栄養 準備・実施・片づけ・消毒・報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第31回	10章 経管栄養の実施手順	経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第32回	11章 子どもの医療的ケア	子どもの特徴 医療的ケアが必要な子ども の特徴	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第33回	12章 リスクマネジメントと喀痰吸引等の安全な実施	事故報告書 リスク・マネジメント	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第34回	13章 救急蘇生法	胸骨圧迫・人工呼吸	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第35回	まとめ	確認テスト	確認テスト 事前学習 確認テストで間違いのあった問題の確認 予習90分 復習90分

テキスト	[題] 『医療的ケア』 [著] 柘崎京子・荏原順子 編著 [出] 建帛社
参考書・参考資料等	「改訂版 介護職のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド」服部万里子 ひかりのくに出版
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) 確認テスト・ノート提出…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	A4サイズノートを1冊用意して、1回目から予習・復習したノートは毎回授業開始時に提出してください。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	医療的ケアⅡ a
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	(介護)必修
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	介護福祉コース生のみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①吸引や経管栄養における基本的知識を身につけ、吸引や経管栄養の根拠や目的を理解できる。 ②吸引や経管栄養を安全に行うための技術を習得できる。
授業概要	この演習は医療的ケアⅠの筆記試験に合格した人が対象となる。 口腔内吸引・鼻腔内吸引・気管カニューレ内吸引・胃ろう・経鼻経管栄養を項目ごと1日(4コマ)で4回演習し、5回目には実技試験を行う。実技試験の合格は全過程を一人で全てできることが必要である。 口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内吸引・胃ろう・経鼻経管栄養・救急救命法とそれぞれ各項目を1日で終了する演習スタイルである。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	口腔内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習
第2回	口腔内吸引		
第3回	口腔内吸引		
第4回	口腔内吸引		
第5回	鼻腔内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習
第6回	鼻腔内吸引		
第7回	鼻腔内吸引		
第8回	鼻腔内吸引		
第9回	気管カニューレ内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習

第10回	気管カニューレ内吸引		
第11回	気管カニューレ内吸引		
第12回	気管カニューレ内吸引		
第13回	喀痰吸引まとめ		不合格項目の自主練習(120分) 演習後の考察(60分)
第14回	喀痰吸引まとめ		
第15回	喀痰吸引まとめ		
第16回	喀痰吸引まとめ		
第17回	胃ろうによる経管栄養法	医師の指示書・必要物品・観察・利用者への説明・1分間の滴下数の計算・クレンメの調整・報告・連絡・記録	胃ろうのDVDの視聴する。 PEG部位の解剖・観察項目・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 経管栄養の組み立てや滴下数の計算ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、経管栄養法技術の自主練習 予習：(90分) 復習：(90分)
第18回	胃ろうによる経管栄養法		
第19回	胃ろうによる経管栄養法		
第20回	胃ろうによる経管栄養法		
第21回	経鼻経管栄養	医師の指示書・必要物品・観察・利用者への説明・1分間の滴下数の計算・クレンメの調整・報告・連絡・記録	経鼻会館栄養法のDVDの視聴する。 チューブ挿入部位の解剖・観察事項・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 経管栄養法の組み立てや1分間の滴下数の計算ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、経管栄養法の技術の自主練習
第22回	経鼻経管栄養		
第23回	経鼻経管栄養		
第24回	経鼻経管栄養		
第25回	経管栄養法まとめ		不合格項目の自主訓練 演習後の考察をノートに記入
第26回	経管栄養法まとめ		
第27回	経管栄養法まとめ		
第28回	経管栄養法まとめ		
第29回	救急救命法	胸骨圧迫・人工呼吸法	テキストを読み、DVDを視聴してくる。 演習の手順を予習する。 演習後の考察を記入する。
第30回	救急救命法		

テキスト	[題] 『医療的ケア』 [著] 柘崎京子・荏原順子 編著 [出] 建帛社
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	実技試験…(50%) ノート提出…(30%) 平常点…20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	医療的ケア I

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	医療的ケア I で使用したノートを持参し、演習中後は考察を記入します。次週の月曜日までに必ずノートを提出。
備考	演習前にオリエンテーションを行います。詳しい日程は掲示版で確認してください。各自、空き時間を使用して自主練習を行い、当日9時より演習に臨んでください。

[ウインドウを閉じる](#)